

令和6年度 尾鷲市まちづくりに関するアンケート

ご協力をお願い

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、市民の皆さまが日頃お感じになられていることとお聞きし、市政運営に反映させるために行うものであり、かつ、令和4年4月からスタートしました「第7次尾鷲市総合計画」の進捗管理を行うためのアンケートとして実施させていただくものです。

調査にあたり、市民の皆さまの中から1,000人の方を無作為に抽出したところ、今回、あなたさまが選ばれました。

ご回答いただいた調査内容は、上記の目的にのみ利用させていただくもので、個々の回答内容は公表いたしませんので、率直なご意見をお聴かせください。

皆さまの声を尾鷲市のまちづくりにつなげたいと考えておりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和7年2月

尾鷲市長 加藤 千速

◎ このアンケートの回答は、スマートフォン、パソコン、タブレットなどから、**Web上でご回答いただくことも可能です。**（今まで通り、紙の調査票でも回答を受け付けています。）

画面タップで簡単に回答でき、郵便ポストに投函に行く必要もありませんので、是非この際にWebでのご回答についてご検討をお願いします。Webにてご回答いただける場合、下記のURL、又はQRコードをスマートフォン等のカメラで読み取ったうえで、リンクよりご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

【アンケート↓↓QRコード】

リンク先 <https://logoform.jp/form/z5gK/917860>



アンケート用紙ご記入にあたってのお願い

1. 必ず**あて名のご本人**がお答えください。
2. お答えは、あてはまる回答の**番号を○**で囲んでください。なお、設問によっては**複数回答や文字の記入**をする場合がありますので、ご注意ください。
3. 集計結果は公表しますが、統計的に処理しますので、皆さまの個人に関する情報が外部に漏れることはありません。率直なご意見等をお聞かせください。
4. （紙での提出の場合）ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒（切手不要）により、**令和7年3月26日(水)までに**ポストに投函ください。

調査票、返信用封筒ともに無記名で結構です。

■ このアンケートに関するお問い合わせ先
尾鷲市政策調整課企画調整係

TEL 0597-23-8134

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別をお聞かせください。(当てはまる番号を選び○で囲んでください。以下の質問も同様です。)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

→ 問2へ

問2 あなたの年齢をお聞かせください。

- | | |
|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 |
| 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代以上 | |

→ 問3へ

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

(3～5番に該当する方は、お住まいの町名を○で囲んでください。)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 尾鷲地区 | } お住まいの町名を○で
囲んでください |
| 2. 須賀利地区 | |
| 3. 九鬼早田地区 (九鬼町・早田町) | |
| 4. 北輪内地区 (三木浦町・小脇町・名柄町・三木里町) | |
| 5. 南輪内地区 (古江町・賀田町・曾根町・梶賀町) | |

→ 問4へ

問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 配偶者、子どもと同居 | 4. 子どもと同居 |
| 5. 親と同居 | 6. 親、子ども、祖父母、孫などとの同居 |
| 7. その他 () | |

→ 問5へ

問5 あなたの主な職業をお聞かせください。(複数の場合には主な職業のみお答えください。)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 農林業 | 2. 漁業 |
| 3. 自営業 | 4. 会社員・公務員 |
| 5. 自由業 (医師、弁護士、僧侶など) | 6. パートタイマー・アルバイト・内職など |
| 7. 家事 (主婦・夫、家事手伝いなど) | 8. 学生 |
| 9. 無職 | 10. その他 () |

→ 問6へ

問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～3年未満 |
| 3. 3～5年未満 | 4. 5～10年未満 |
| 5. 10～20年未満 | 6. 20年以上 |

→ 問7へ

本市での居住についておうかがいします

問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1. ずっと住み続けたい | → 問10へ |
| 2. しばらくの間は住み続けたい | → 問10へ |
| 3. 住み続けたいが、引っ越さなければならぬ(引っ越す可能性がある) | → 問8へ |
| 4. いずれは市外に引っ越ししたい | → 問9へ |
| 5. すぐにでも引っ越ししたい | → 問9へ |
| 6. どちらともいえない | → 問10へ |

【問7で「3」とお答えになった方におうかがいします。】

問8 引っ越す可能性がある理由は何ですか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 仕事の都合 | 2. 学業の都合 |
| 3. 親族の都合 | 4. その他() |

→ 問10へ

【問7で「4」または「5」とお答えになった方におうかがいします。】

問9 市外に引っ越ししたい理由は何ですか。

- | |
|---------------------------|
| 1. 雇用機会が少ないから |
| 2. 高等教育機関などの進学環境が整っていないから |
| 3. 娯楽・レクリエーション施設などが少ないから |
| 4. 各種福祉政策が充実していないから |
| 5. その他() |

→ 問10へ

問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。あなたのお考えに一番近いものを選びください。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 住みよいまちである | 2. どちらかといえば住みよいまちである |
| 3. どちらかといえば住みにくいまちである | 4. 住みにくいまちである |
| 5. どちらともいえない | |

→ 問11へ

問11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。あてはまるもののうち上位2つを選んでください。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 老後の不安 | 2. 子育ての不安 |
| 3. 子どもの進学・就職に対する不安 | 4. 健康面での不安 |
| 5. 地震や豪雨、火災などの災害に対する不安 | 6. 犯罪や交通事故など安全に対する不安 |
| 7. 地球温暖化や環境汚染など環境に関する不安 | 8. 経済的な不安 |
| 9. 近所づきあいなど近隣の人間関係に関する不安 | 10. その他() |
| 11. 特に不安はない | |

→ 問12へ

これからのまちづくりについておうかがいします

問12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。あてはまるもののうち上位3つまでお答えください。

1. 交通事故、犯罪などが少なく、安心して生活できるまち
2. 地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち
3. 公害や環境破壊が少なく、地球環境にやさしいまち
4. 海や山、川などの自然がたくさん残っているまち
5. 保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち
6. 子どもからお年寄りまで安心して元気に暮らせるまち
7. 地域で子どもを育むなど、人と人が関わり、人が育つまち
8. 子どもの教育環境によいまち
9. 働きがいのある職場が多く、活気のあるまち
10. 第一次産業（農林水産業）に活気があり、豊かな地域資源に恵まれたまち
11. にぎわいのある商業施設があり、買い物に便利なまち
12. 観光やレクリエーションのために訪れる人が多いまち
13. 道路、公園などの都市機能が充実しているまち
14. 公共交通などの移動手段が整ったまち
15. 市民主体のまちづくりが活発なまち
16. 将来にわたって健全な財政運営を行うまち
17. わからない
18. その他（)

→ 問13へ

問13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。あてはまるもののうち上位3つまでお答えください。

1. 交通事故や犯罪などへの取り組み
2. 地震や風水害などへの防災対策
3. 地球温暖化への取り組み
4. 自然環境保護への取り組み
5. 保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み
6. 地域での子育て支援、高齢者の生活支援（子どもへの声かけや見守り、ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど）
7. 生涯学習やスポーツ振興などへの取り組み
8. 子どもの教育環境の整備への取り組み
9. 働く場所の確保への取り組み
10. 第一次産業（農林水産業）の活性化への取り組み
11. 商業施設の活性化への取り組み
12. 観光産業などへの取り組み
13. 道路、公園などの整備、維持への取り組み
14. 公共交通などの移動手段の確保への取り組み
15. 市民主体のまちづくりを活発にする取り組み
16. 健全な財政運営を行うための行政改革への取り組み
17. わからない
18. その他（)

→ 問14へ

問14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 積極的に参加している | → 問16へ |
| 2. ときどき参加している | → 問16へ |
| 3. あまり参加したことがない | → 問15へ |
| 4. 参加したことがない | → 問15へ |

【問14で「3」または「4」とお答えになった方におうかがいします。】

問15 問14で「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。以下の選択肢の中からあてはまるものを1つお選びください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 参加したいが、始めるきっかけや機会がない |
| 2. 参加したいが、どこに問い合わせをすればいいのかわからない |
| 3. 興味のある活動に対する情報がない |
| 4. 活動に参加する時間がない |
| 5. 活動に興味がない |
| 6. 活動の必要性を感じない |
| 7. 人間関係がわずらわしい |
| 8. 地域に活動自体がない |
| 9. その他（) |

→ 問16へ

問16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 推進すべき | → 問17へ |
| 2. ある程度推進すべき | → 問17へ |
| 3. どちらとも言えない | → 問18へ |
| 4. あまり推進すべきではない | → 問18へ |
| 5. 推進すべきではない | → 問18へ |
| 6. わからない | → 問18へ |

【問16で「1」または「2」とお答えになった方におうかがいします。】

問17 市民との協働（問16の設問文の内容）のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 市政情報の積極的な提供 | 2. 職員の意識改革など市役所の体制整備 |
| 3. 市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり | 4. 市民と市の意見交換の場の設定 |
| 5. 市民活動の活性化 | 6. 市民の協働意識の醸成 |
| 7. わからない | 8. その他（) |

→ 問18へ

【安全】

問18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実 | 2. 耐震診断や改修などの補助制度の充実 |
| 3. 防災資機材の備蓄・整備の充実 | 4. 災害時における連絡体制の充実 |
| 5. 施設の耐震化の充実 | 6. 自主防災組織への支援 |
| 7. 地域住民が主体となった防災対策の推進 | 8. わからない |
| 9. その他（具体的に |) |

→ 問19へ

【健康づくり】

問19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実 |
| 2. 成人病検診やがん検診など検診制度の充実 |
| 3. 健康相談・健康教室・保健師などの訪問活動の充実 |
| 4. 救急・休日・夜間・往診など医療の充実 |
| 5. スポーツによる健康づくり・体力づくり |
| 6. 地域住民が主体となった健康づくりの推進 |
| 7. わからない |
| 8. その他（具体的に |

→ 問20へ

【福祉】

問20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 高齢者や障がい者が入所（入居）できる施設の整備 |
| 2. 高齢者や障がい者の日中活動ができる場の充実 |
| 3. 高齢者や障がい者などが生活しやすいバリアフリー化の推進 |
| 4. 地域全体で高齢者や障がい者などを支える関係づくりの充実 |
| 5. 福祉制度など経済面での生活支援の充実 |
| 6. 元気高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実 |
| 7. わからない |
| 8. その他（具体的に |

→ 問21へ

【産業振興】

問21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. にぎわいを生む商店の活性化 |
| 2. 大型店を核とした商業地区の整備 |
| 3. 新たな産業の育成・支援 |
| 4. 地域資源の活用による地域ブランドの開発 |
| 5. 新規産物の開発などの特産品開発 |
| 6. 歴史・文化・自然などを生かした交流人口の増加による観光振興 |
| 7. 農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化 |
| 8. わからない |
| 9. その他（具体的に |

→ 問22へ

【子育て環境】

問22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実
2. 乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実
3. 保育所定員の拡充
4. 子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実
5. 子どもの遊び場の整備
6. 一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実
7. 地域住民が地域の子どもたちを見守る関係づくりの充実
8. わからない
9. その他（具体的に _____)

→ 問23へ

【学校教育】

問23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進
2. 体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり
3. 家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進
4. 不登校やいじめなどに対応した教育の推進
5. 校舎の耐震化など、施設の改修・整備
6. 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実
7. わからない
8. その他（具体的に _____)

→ 問24へ

【環境】

問24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 電気・ガス・ガソリンなどエネルギー利用の抑制
2. 太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実
3. 海・山・川などの自然環境の保全
4. 資源ごみの分別などによるリサイクルの推進
5. マイバッグ利用や簡易包装などによるごみの発生抑制
6. いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実
7. 身近な地域の美化活動などへの参加
8. わからない
9. その他（具体的に _____)

→ 問25へ

【市民意見の反映】

問25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分反映されている | 2. ある程度反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. まったく反映されていない |

→ 問26へ

問26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 市長と対話できる機会の充実
2. 市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実
3. 幅広い市民参加の促進
4. 審議会などへの市民参加の充実
5. アンケート調査の実施
6. パブリックコメントの充実
7. 広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実
8. わからない
9. その他（具体的に)

→ 問27へ

【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する
2. 市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す
3. 市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う
4. 市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じ統合あるいは廃止する
5. サービスにより利益を受ける市民に適切な費用を負担してもらう
6. 施設の統合・廃止や他施設との複合化を図る
7. 必要に応じ業務を民間委託する
8. 市の職員数を見直す
9. 市職員の給与水準を見直す
10. わからない
11. その他（具体的に)

→ 問28へ

【公共交通】

問28 通勤通学、買い物、通院など、普段外出する際の交通手段はどれですか。あてはまるものすべてお答えください。

- | | | | |
|------------|--------------|------------|---------|
| 1. JR | 2. 三重交通バス | 3. ふれあいバス※ | 4. タクシー |
| 5. 自分で車を運転 | 6. 家族等の車での送迎 | 7. バイク・自転車 | |
| 8. 徒歩 | 9. その他 () | | |

※ふれあいバスは、尾鷲市が運行しているバスです。

→ 問29へ

暮らしの満足度と今後の重要度についておうかがいします

問29 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。次の(1)～(39)の各項目について、あなたの考えに近いものを「満足度」と「重要度」の中からそれぞれ1つずつお答えください。

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
※ 記入例	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(1) 市民参加によるまちづくり (地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「協働・平等」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2) 情報共有化の推進 (広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など) ※第7次総合計画における施策分野は「行政運営」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3) 市民参加による防災対策 (防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「防災」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(4) 防災と危機管理 (土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など) ※第7次総合計画における施策分野は「防災」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(5) 消防・救急体制の充実 (火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など) ※第7次総合計画における施策分野は「医療・救急」、「防災」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(6) 防犯対策の推進 (犯罪の不安を感じる事のない安全で安心な取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「防犯・交通安全」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【令和6年度尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査票】

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(7) 交通安全対策の推進 (交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「防犯・交通安全」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(8) 人権尊重社会の実現 (人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「協働・平等」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(9) 男女共同参画の推進 (性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「協働・平等」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(10) 健康づくりの推進 (ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など) ※第7次総合計画における施策分野は「健康」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(11) 地域医療体制の確保 (尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など) ※第7次総合計画における施策分野は「医療・救急」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(12) 高齢者保健福祉の推進 (いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「福祉」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(13) 障がい者福祉の推進 (自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「福祉」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(14) 社会保障の確保 (安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「社会保障」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【令和6年度尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査票】

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(15) 市民相談窓口の確保 (必要なときに適切な相談を受けることができる 取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「協働・平等」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(16) 生活保障の確保 (必要なときに適切な支援を受けることができる 取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「社会保障」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(17) 農業・関連産業の振興 (さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保 全・管理、活用がされる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「農業」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(18) 林業・関連産業の振興 (経営基盤が強化され、施業を継続的に実施でき る取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「林業」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(19) 水産業・関連産業の振興 (水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及 び付加価値の向上により、水産業が持続できる 取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「水産」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(20) 商工観光業の振興 (活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創 出される取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「商工」、「観光・ プロモーション」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(21) 子育て支援の推進 (保育サービス、子育てに関する相談体制や情報 提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの 環境づくりなど) ※第7次総合計画における施策分野は「子育て」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【令和6年度尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査票】

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(2 2) 未就学児への支援 (未就学児が健やかに成長できる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「子育て」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 3) 学校教育の充実 (一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「学校教育」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 4) 生涯教育の推進 (生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など) ※第7次総合計画における施策分野は「生涯教育」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 5) 生涯スポーツの推進 (年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「スポーツ」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 6) 国際交流の推進 (多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「国際交流・多文化共生」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 7) 森林の公益的機能の保全 (適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「林業」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2 8) 鳥獣害対策の推進 (野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「農業」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【令和6年度尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査票】

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(2 9) 自然環境の保全 (自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「自然環境」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3 0) 資源循環型社会の推進 (ごみの発生抑制・再使用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「生活環境」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3 1) 良好な生活環境の保全 (環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「生活環境」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3 2) 安全・安心な水の確保 (安全で安心な水が安定供給される取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「生活環境」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3 3) 都市づくりの推進 (安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「基盤整備」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3 4) 災害に強い都市施設の推進 (災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「公共施設」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3 5) 公共交通の確保 (安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「公共交通」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

【令和6年度尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査票】

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(36) 財政の健全化 (行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど) ※第7次総合計画における施策分野は「財政運営」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(37) 広域・外部連携の推進 (近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「広域連携」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(38) 新しいひとの流れの創出 (多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「移住・定住」、「関係人口」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(39) 郷土文化・歴史の保存と継承 (文化財の適切な保存・管理や、次世代への文化継承に対する取り組みなど) ※第7次総合計画における施策分野は「郷土文化・歴史」	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

自由意見

問30 5年後の尾鷲市を住みやすいまちにするために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのご意見をご自由にお書きください。

～アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。～

ご記入いただいた調査票は、無記名のまま、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

令和7年3月26日（水）までにご投函ください。

尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査 結果報告書

令和7年5月

【目次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 本市での生活について	7
3. これからのまちづくりについて	13
4. 暮らしの満足度と今後の重要度について	46

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は「第7次尾鷲市総合計画」の進行管理にあたり、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するため、毎年アンケート調査を実施しているものです。

2. 調査概要

調査区域 : 尾鷲市全域
調査対象 : 18歳以上80歳以下の市民から1,000人を無作為抽出
調査時期 : 令和7年2月
配布数 : 1,000票
回収数 : 372票
回収率 : 37.2%

3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

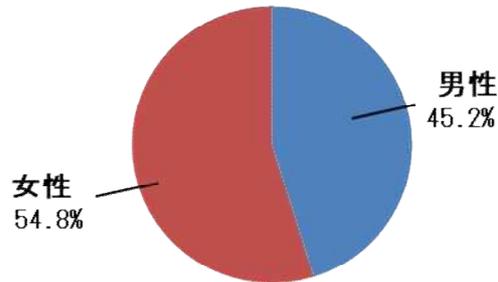
II. 調査の結果

1. 回答者について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

回答者の性別は、「男性」が45.2%、「女性」が54.8%となっています。

N=372

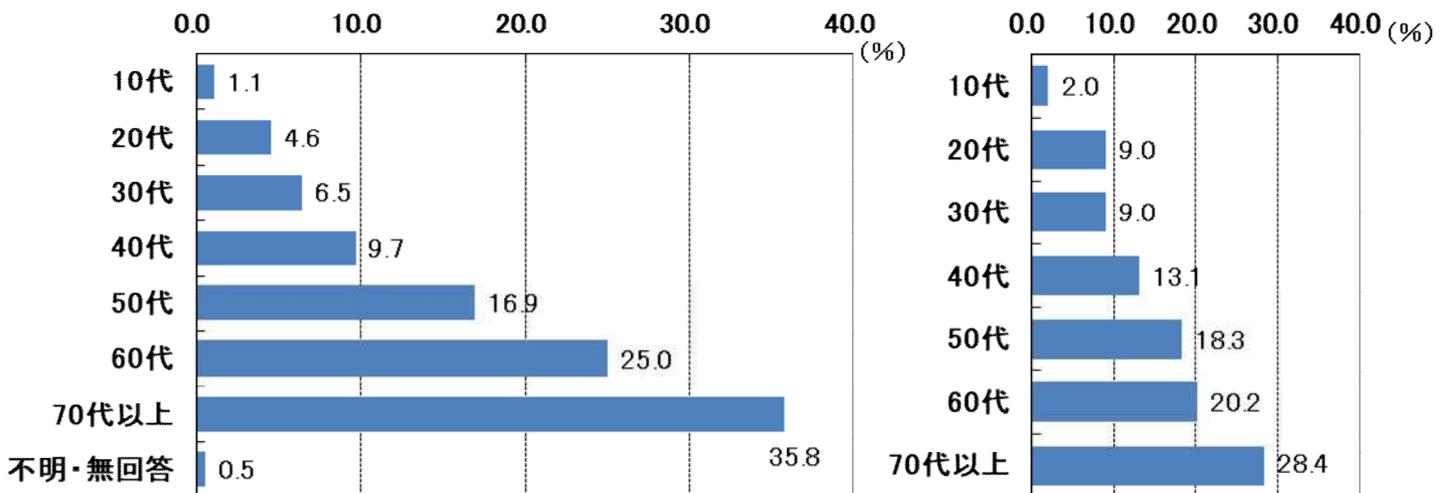


問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60代」が25.0%、「70代以上」が35.8%と、60代以上が約6割を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較すると、「60代」と「70代以上」で実際の割合より高く、その他の年代では低い割合となっています。

N=372

※調査対象である18歳以上の人口の年齢構成比

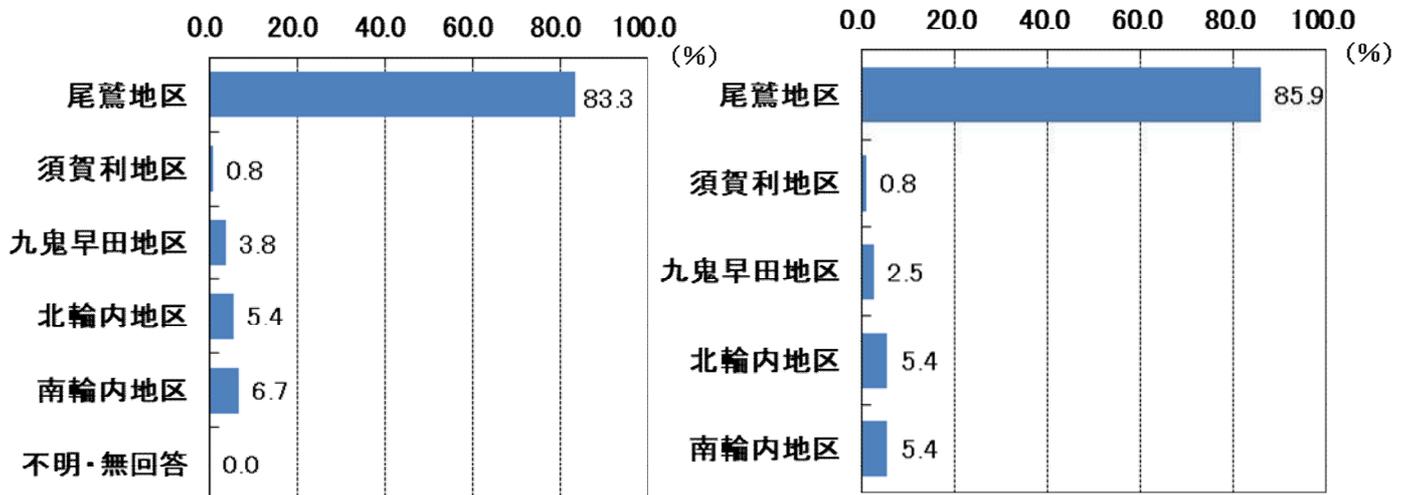


(参考) : 住民基本台帳令和7年1月現在

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 83.3%と大半を占めています。右図の住民基本台帳の人口割合と比較すると、「九鬼早田地区」「南輪内地区」で割合が高くなっています。

N=372

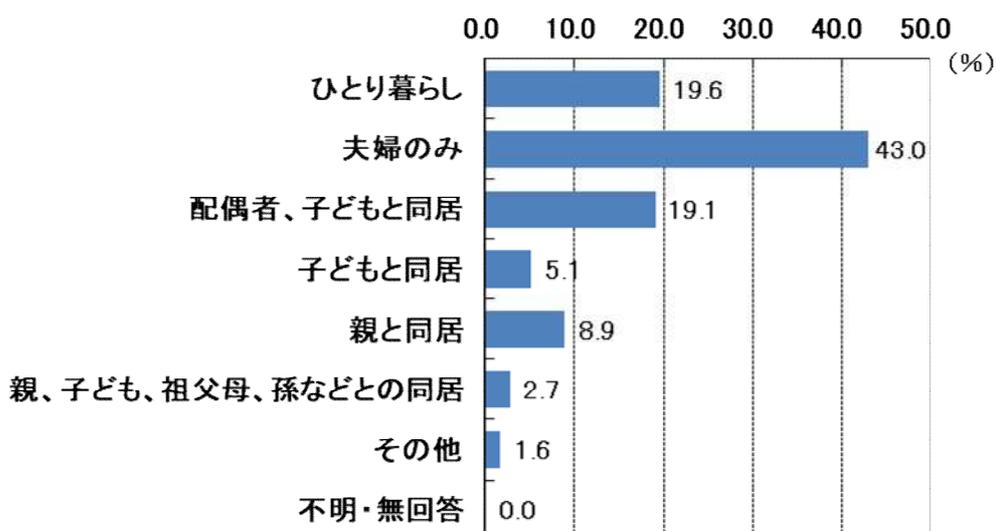


(参考) : 住民基本台帳令和 7 年 1 月現在

問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

回答者の世帯の状況は、「夫婦のみ」が 43.0%、「ひとり暮らし」が 19.6%、「配偶者、子どもと同居」が 19.1%となっています。

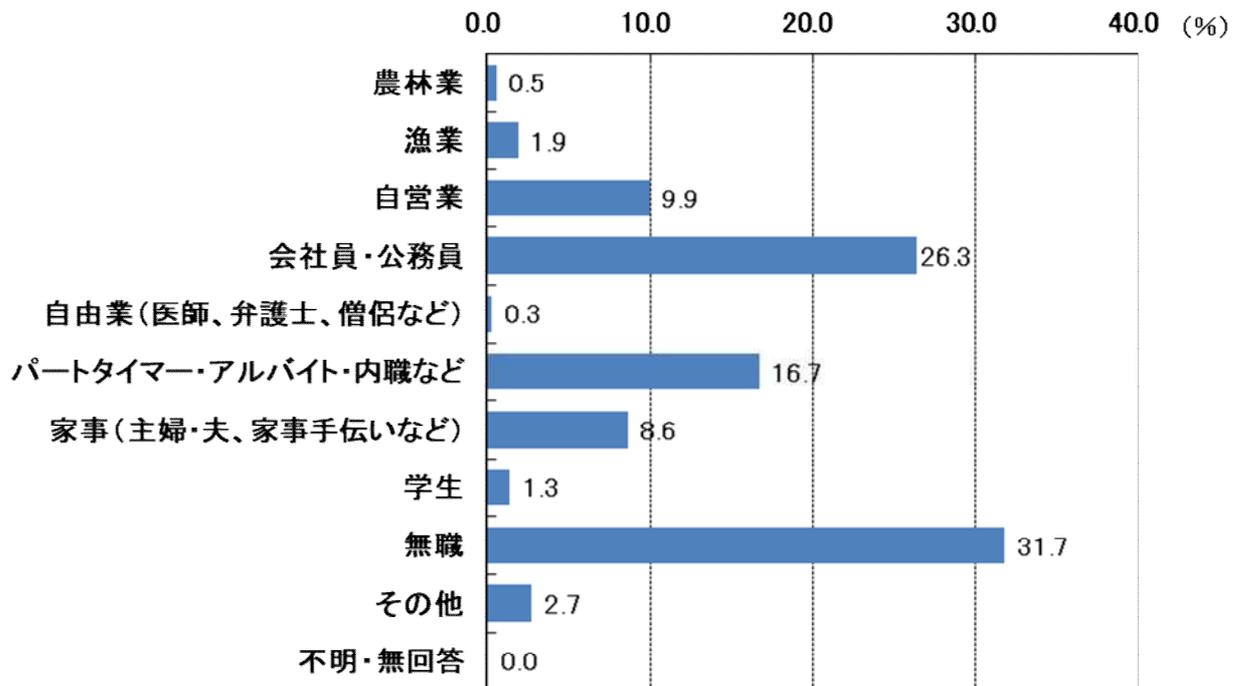
N=372



問5 あなたの主な職業をお聞かせください。

回答者の職業は、「無職」が31.7%、「会社員・公務員」が26.3%、「パートタイマー・アルバイト・内職など」が16.7%となっています。

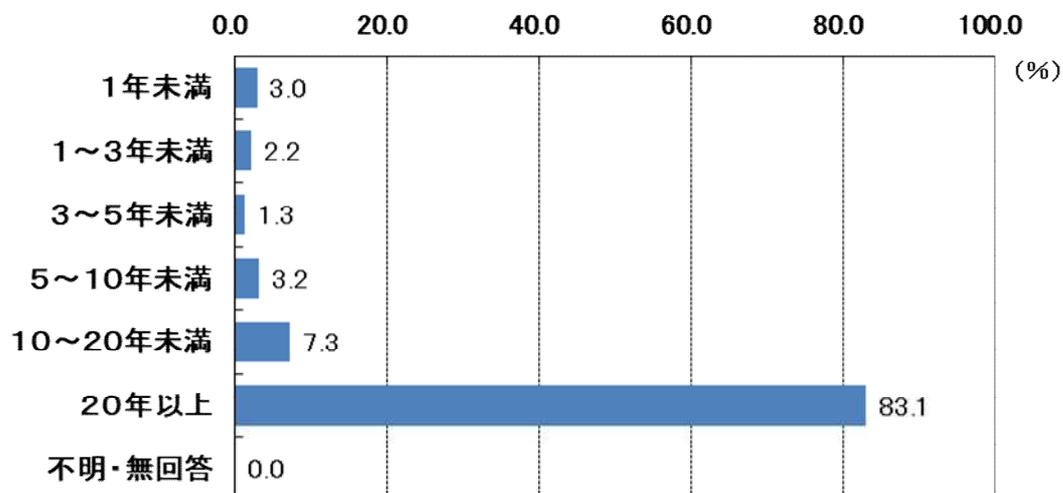
N=372



問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

回答者の居住年数は、「20年以上」が83.1%と大半を占めています。

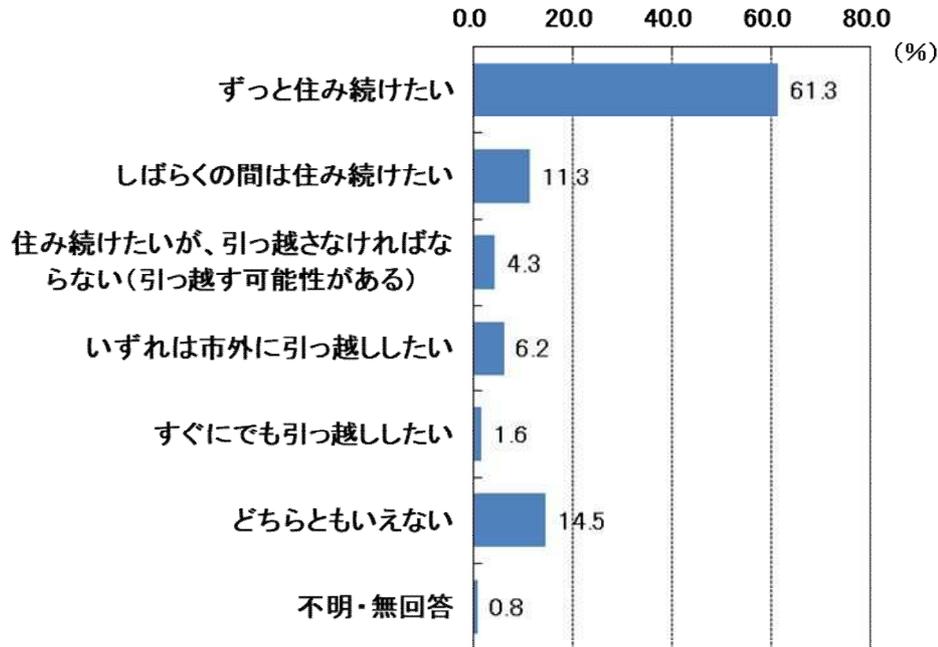
N=372



2. 本市での生活について

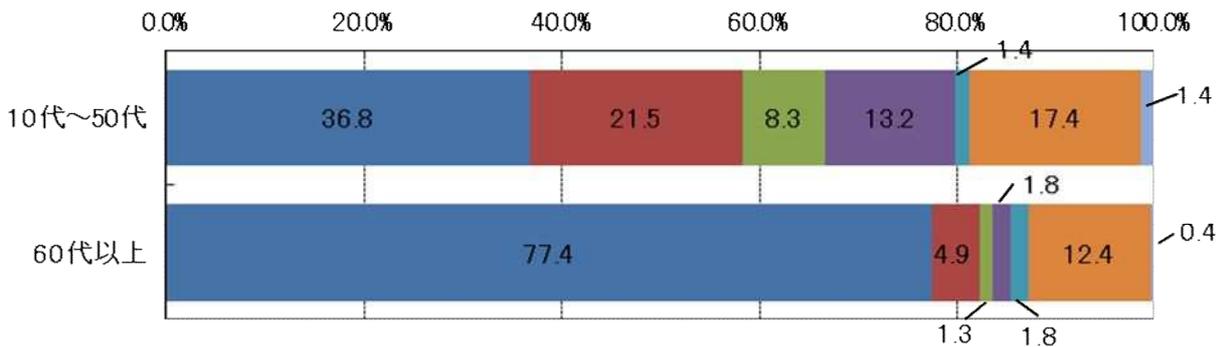
問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が61.3%、「しばらくの間は住み続けたい」が11.3%とあり、「住み続けたい」と答えた方が合計で72.6%と4分の3近くを占めています。



問7×年代

定住意向を年代別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「60代以上」では77.4%であるのに対し、「10代～50代」では36.8%であり、年代による差が見られます。



- ずっと住み続けたい
- しばらくの間は住み続けたい
- 住み続けたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)
- いずれは市外に引っ越したい
- すぐにでも引っ越したい
- どちらともいえない
- 不明・無回答

問7×居住地区

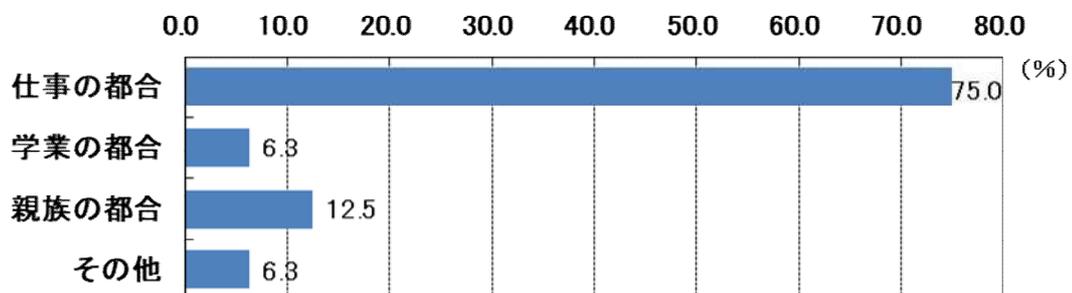
定住意向を地区別に見ると、「ずっと住みたい」が61.3%、「しばらくの間住みたい」が11.3%と同じ割合となっています。



問8 【問7で「住みたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。

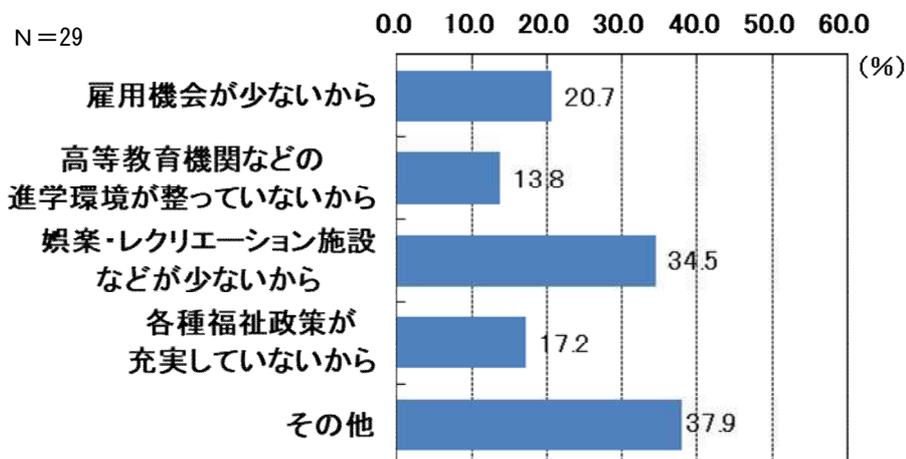
引っ越さなければならない理由は、「仕事の都合」が75.0%、「親族の都合」が12.5%、次いで「学業の都合」が6.3%となっています。

N=16



問9 【問7で「いずれは市外に引っ越したい」または「すぐにも引っ越したい」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越したい理由は何ですか。

引っ越したい理由は、「娯楽・レクリエーション施設などが少ないから」が34.5%、「雇用機会が少ないから」が20.7%となっています。

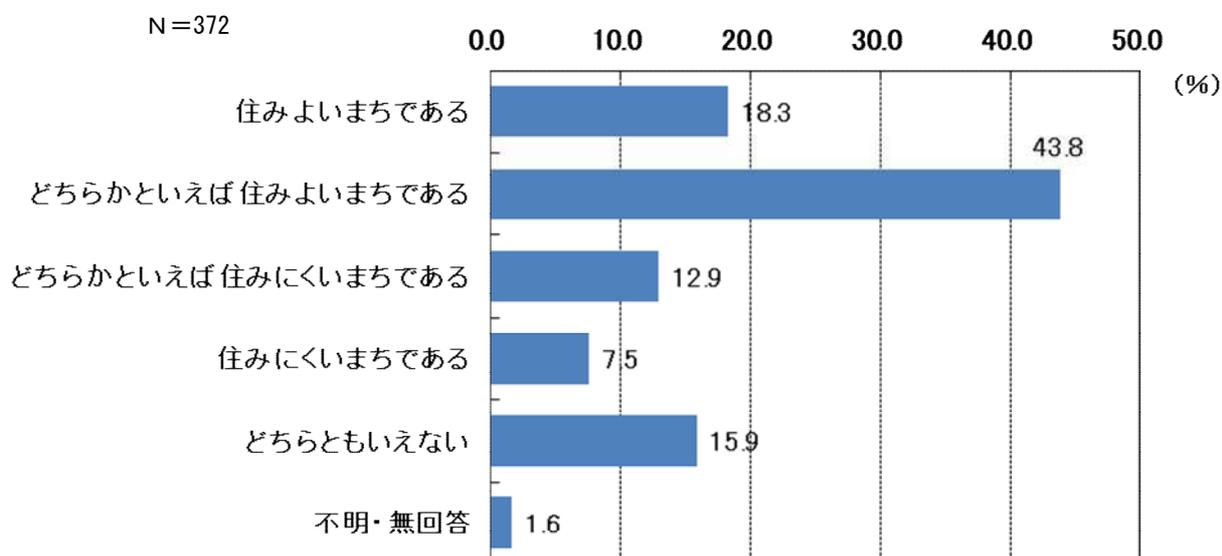


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
医療機関が充実していないから
病院への通院が不便だから
公共交通機関が不便だから
身内が市内にいないから

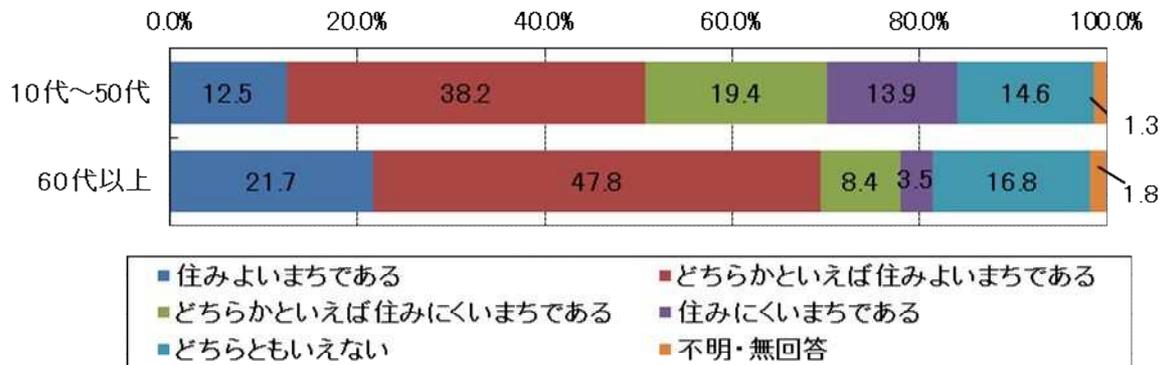
問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。

尾鷲市全体の評価として、「どちらかといえば住みよいまちである」が43.8%、「住みよいまちである」が18.3%となっており、合計で62.1%が「住みよいまち」としています。



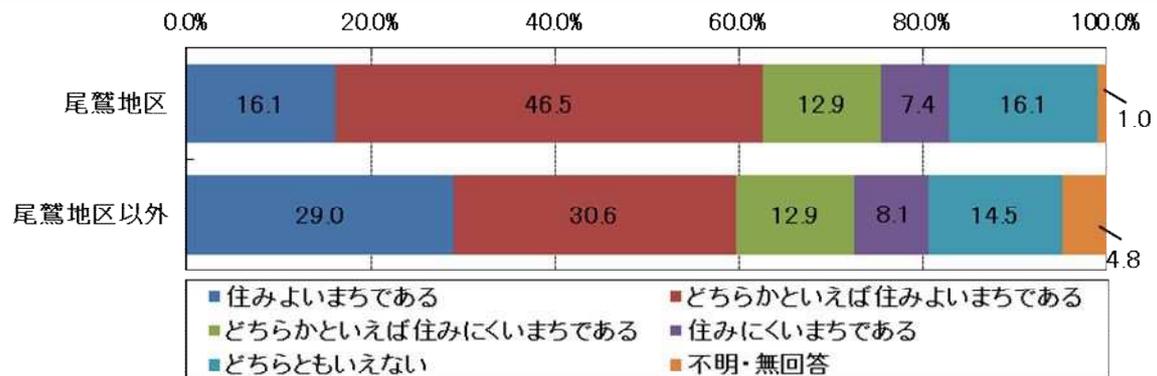
問 10×年代

尾鷲市全体の評価を年代別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「60代以上」では69.5%であるのに対し、「10代～50代」では50.7%であり、年代による差が見られます。



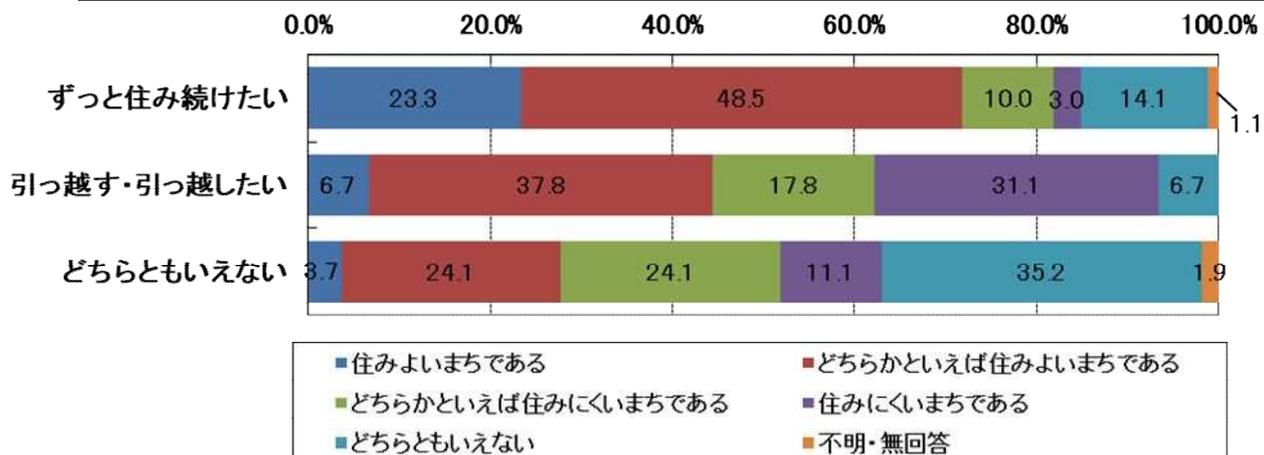
問 10×居住地区

尾鷲市全体の評価を地区別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、尾鷲地区で62.6%、尾鷲地区以外で59.7%であり、尾鷲地区の方が高くなっています。



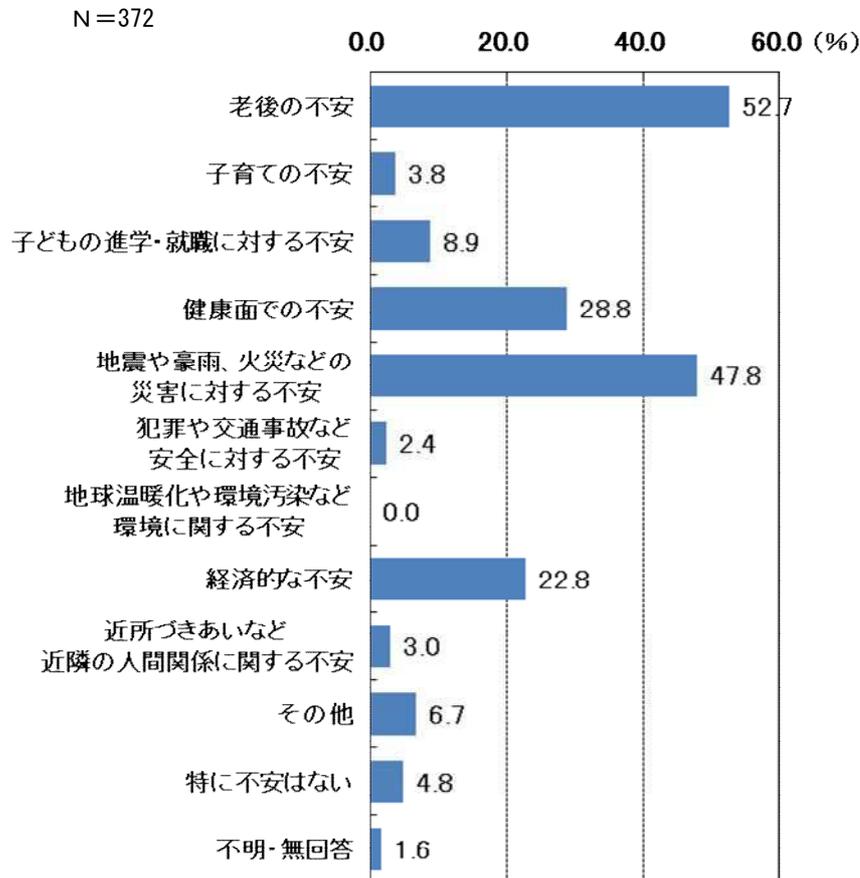
問 10×定住意向

尾鷲市全体の評価を定住意向別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「ずっと住み続けたい」と答えた方では7割以上となっているのに対し、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では約4割にとどまり、定住意向による差が見られます。



問 11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。(複数回答)

現在不安に感じていることとして、「老後の不安」が52.7%、「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」が47.8%、「健康面での不安」が28.8%となっています。

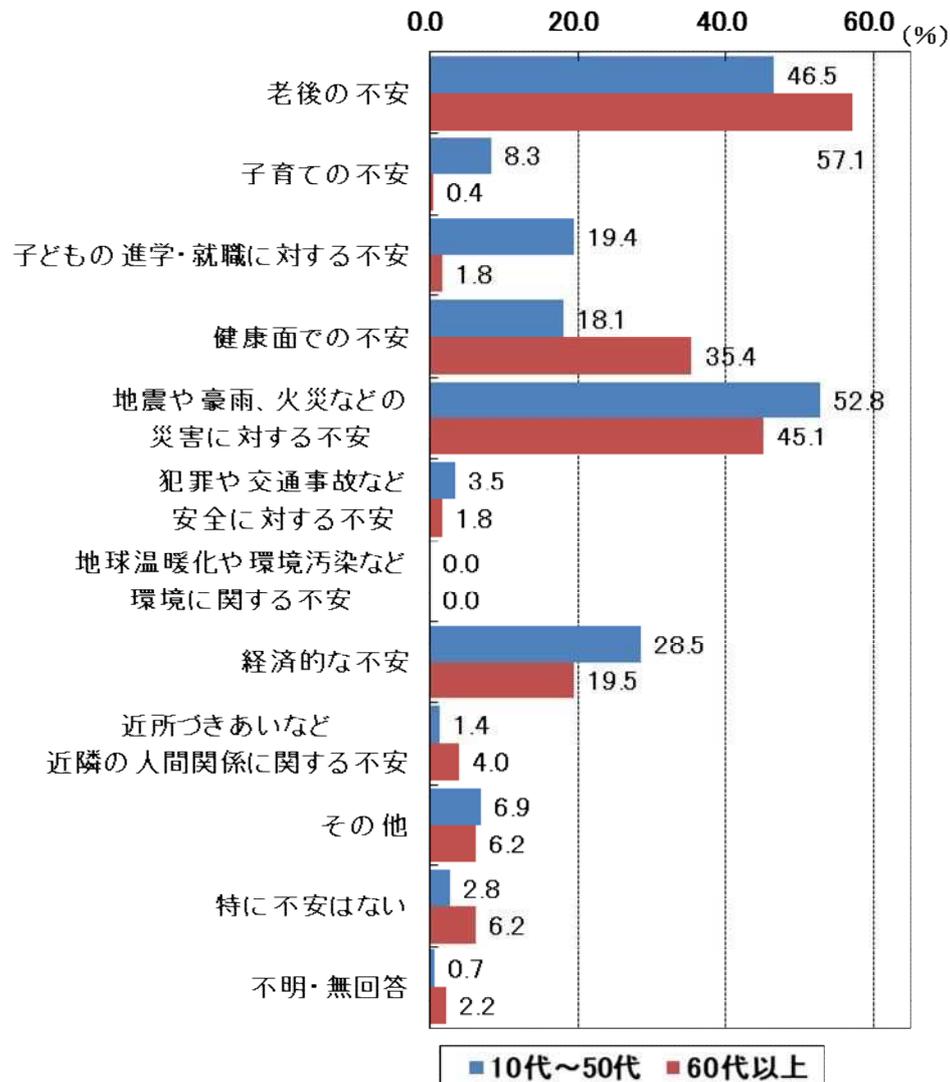


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
医療に対する不安
家族の将来に対する不安
交通に対する不安
過疎化・人口減少に対する不安

問 11×年代

現在不安に感じていることを年代別に見ると、全年代で「老後の不安」や「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」の割合が高くなっており、次いで「10代～50代」では「経済的な不安」「子どもの進学・就職に対する不安」の割合が高く、60代以上では「健康面での不安」「経済的な不安」の割合が高くなっています。

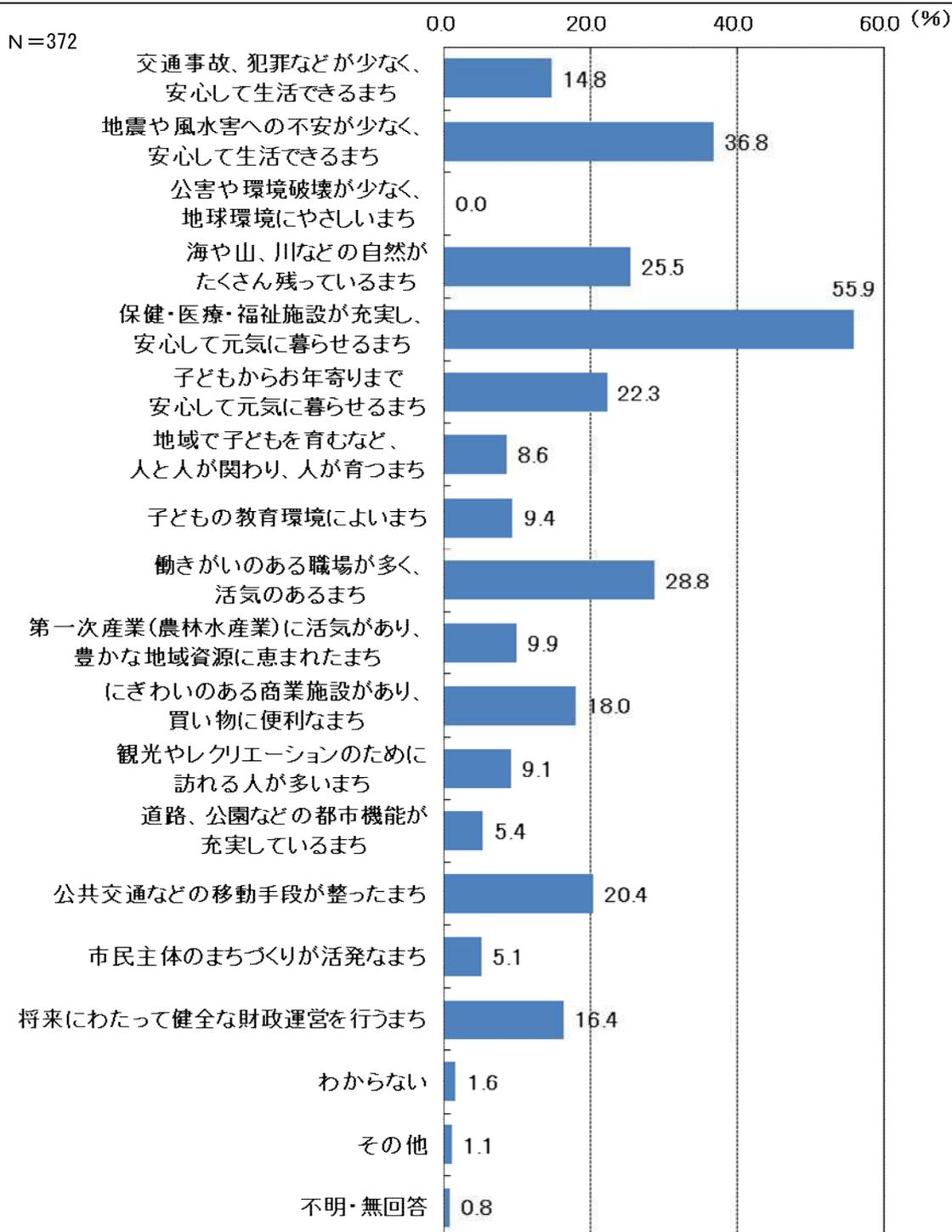


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

3. これからのまちづくりについて

問 12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。
(複数回答)

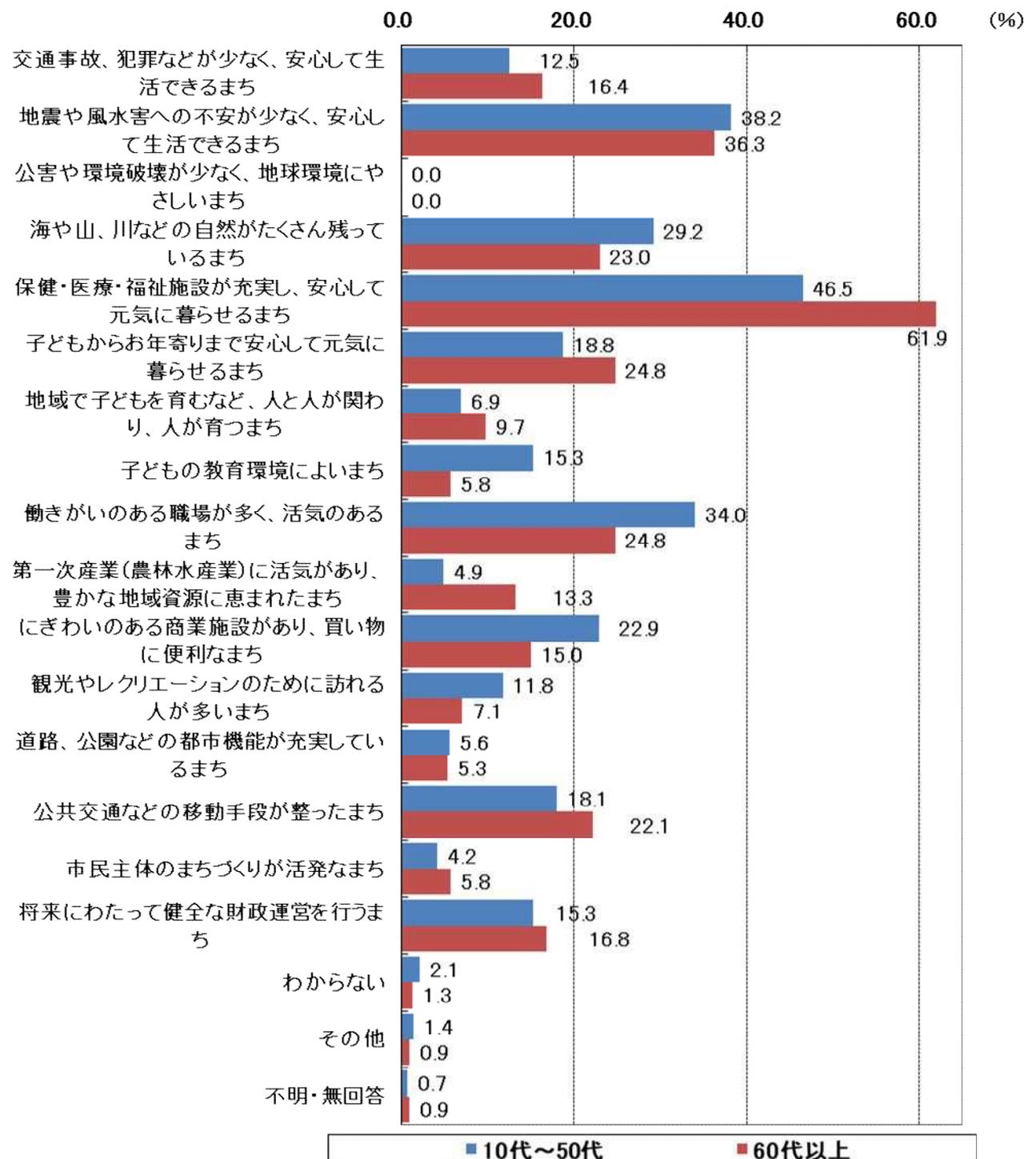
尾鷲市の将来イメージで希望するものとして、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が 55.9%、「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が 36.8%、「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」が 28.8%となっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 12×年代

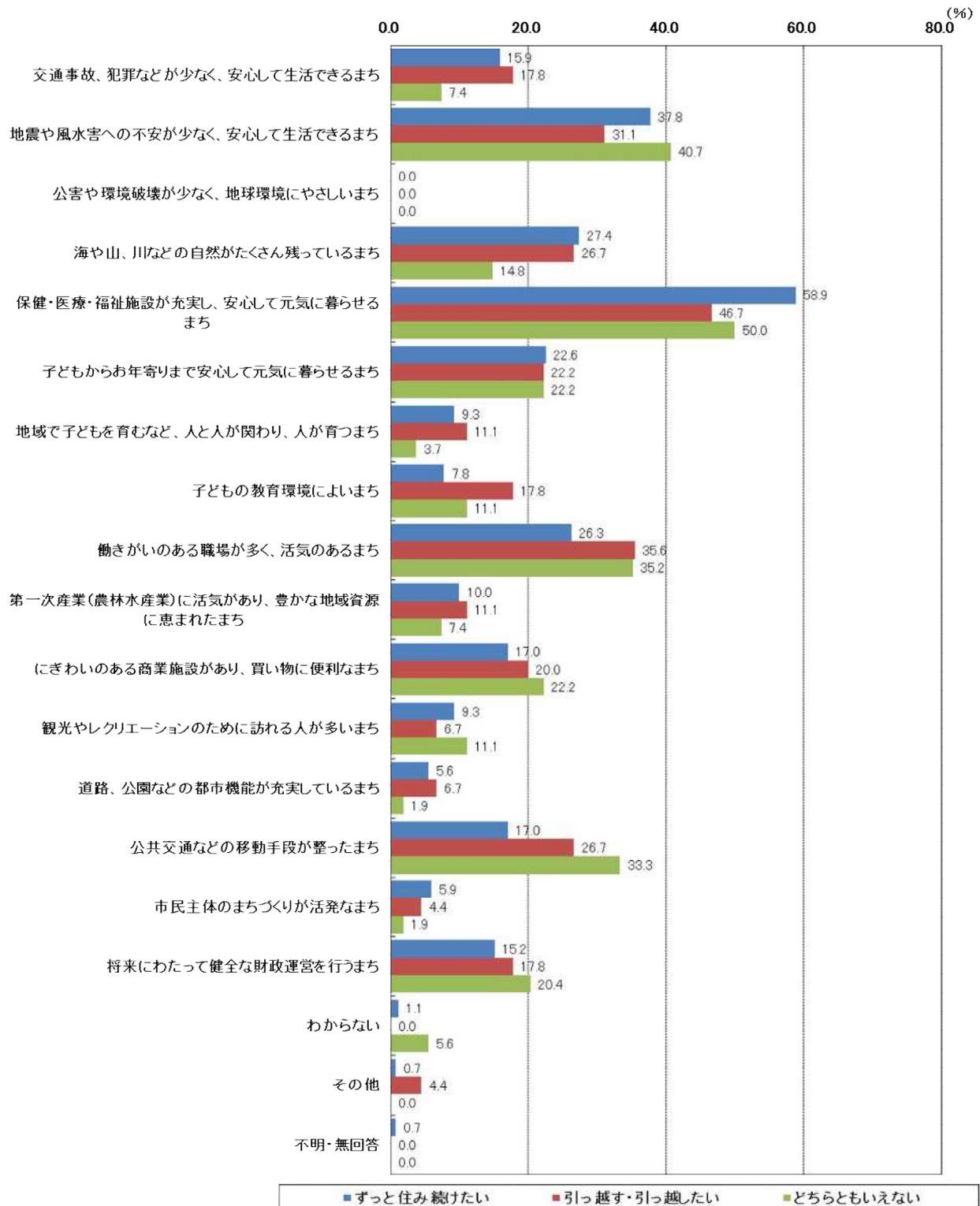
尾鷲市の将来イメージで希望するものを年代別に見ると、全年代において「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」の割合が高くなっており、次いで「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」の割合が高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 12×定住意向

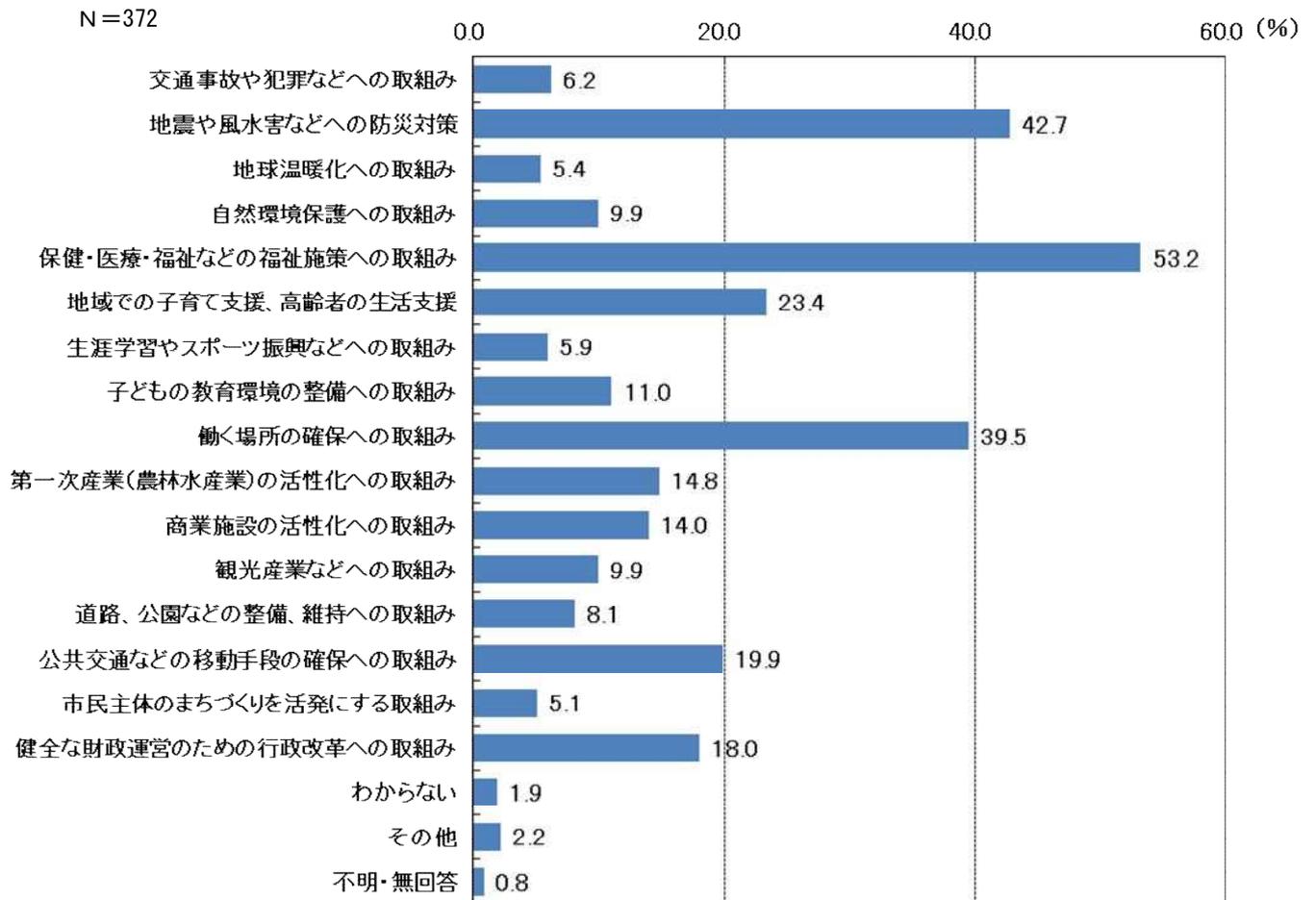
尾鷲市の将来イメージで希望するものを定住意向別に見ると、全定住意向において「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。（複数回答）

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みとして、「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が53.2%、「地震や風水害などへの防災対策」が42.7%となっています。

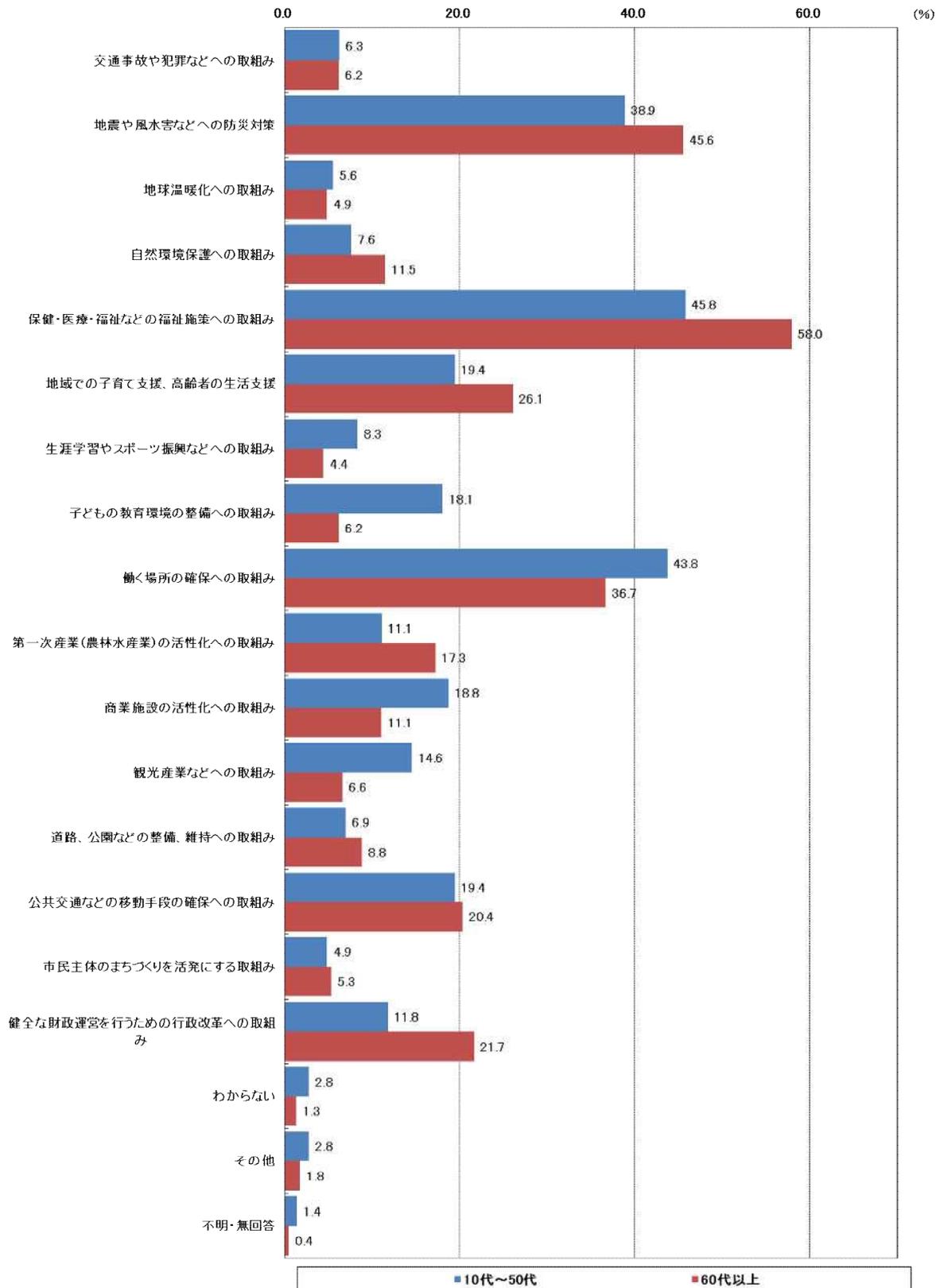


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
尾鷲市独自の商品開発への取り組み
地域による自主的な活動への支援

問 13×年代

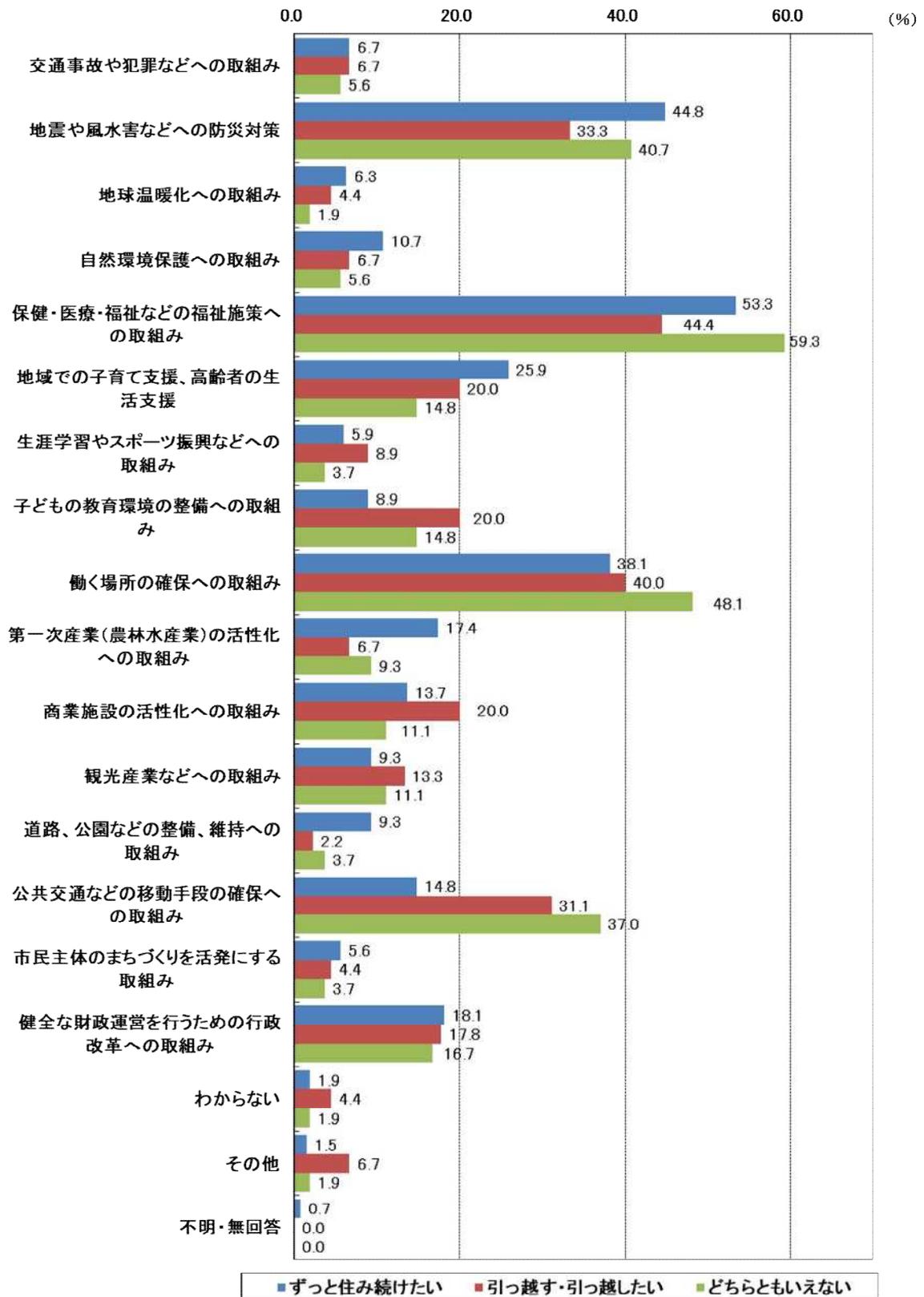
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを年代別に見ると、全年代で「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 13×定住意向

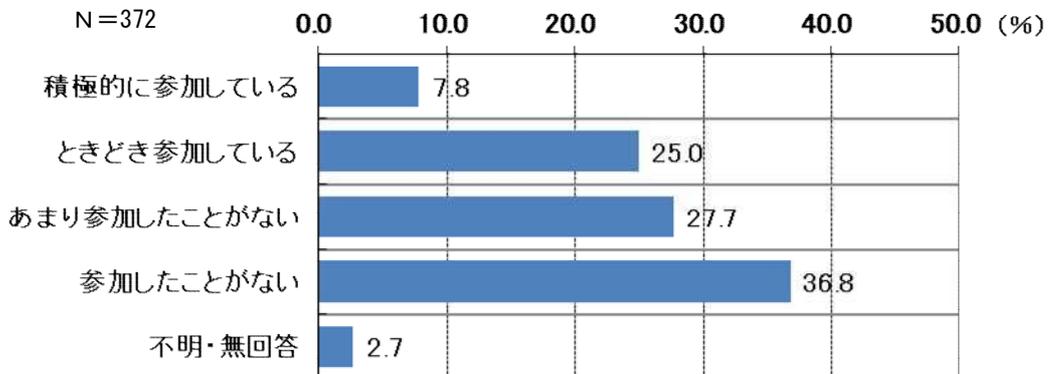
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを定住意向別に見ると、全定住意向で「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」の割合が最も高くなっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

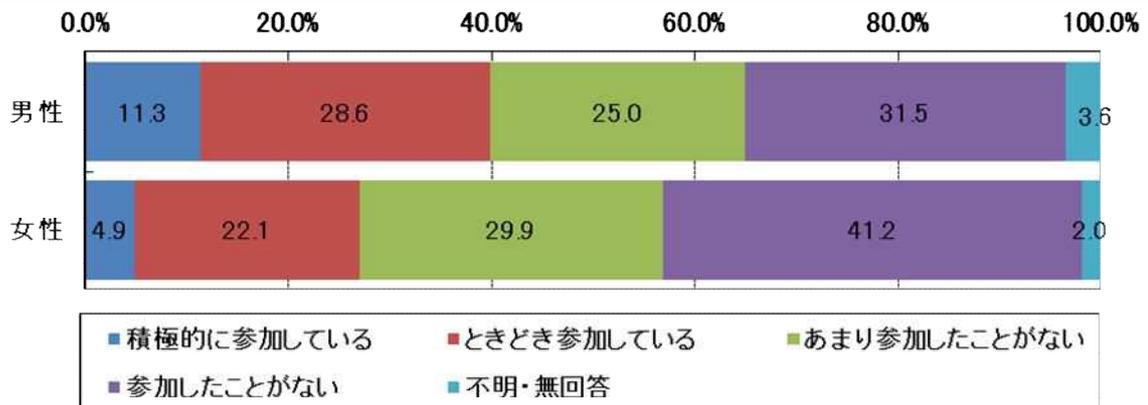
問 14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況として、「積極的に参加している」が7.8%、「ときどき参加している」が25.0%と、「参加している」層は32.8%となっています。



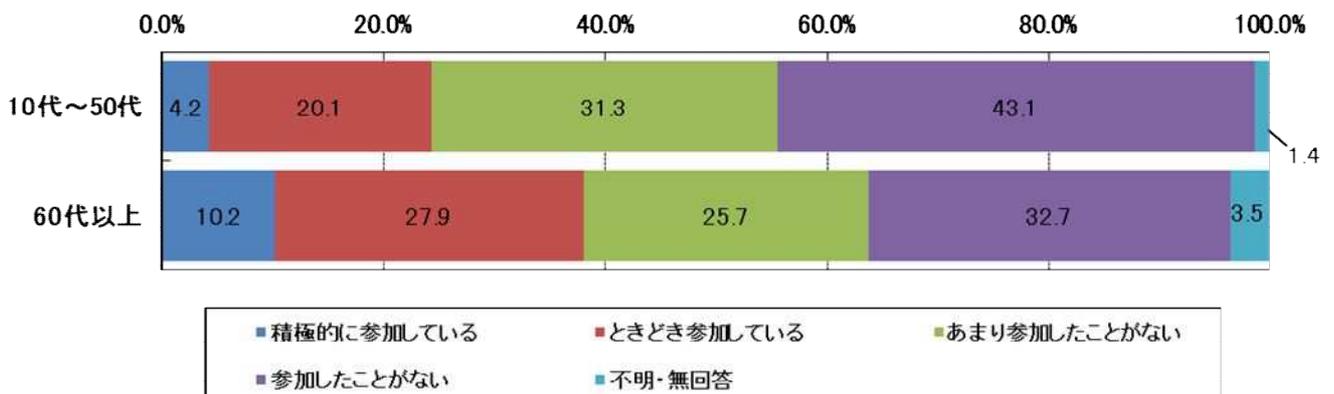
問 14×性別

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を性別ごとに見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は、「男性」の方が高くなっています。



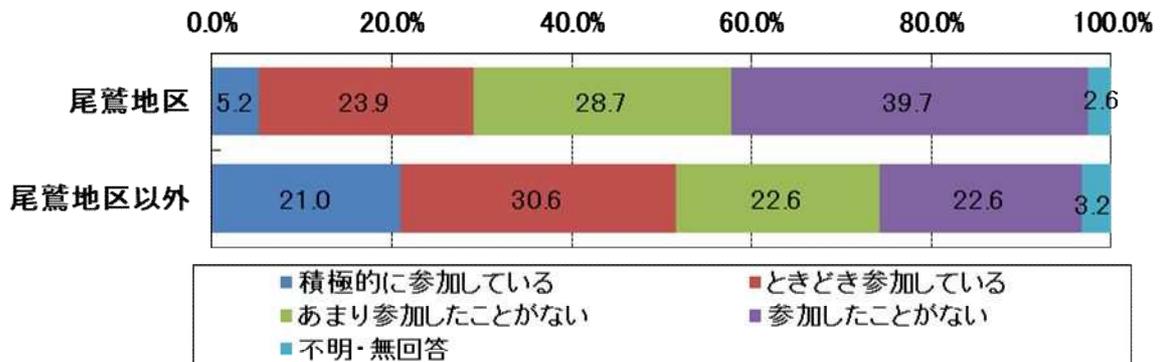
問 14×年代

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を年代別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「10代～50代」では2割台半ばであるのに対し、「60代以上」では4割近くとなっています。



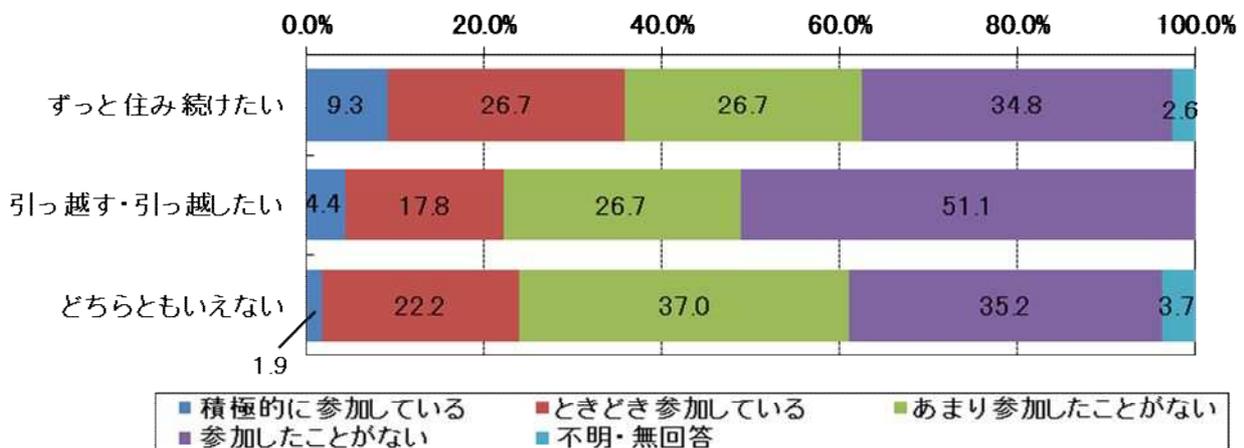
問 14×居住地区

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を地区別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「尾鷲地区」では3割程度であるのに対し、「尾鷲地区以外」では5割程度となっています。



問 14×定住意向

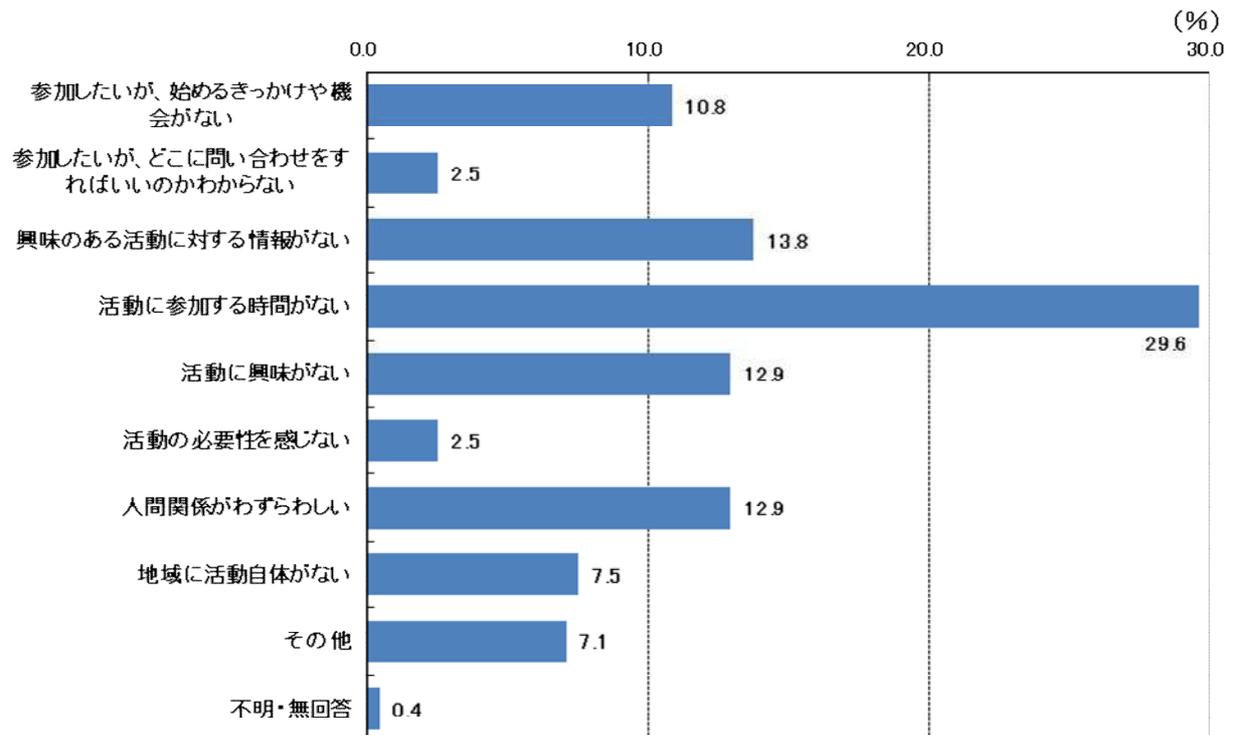
地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を定住意向別に見ると、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方に対し、「ずっと住み続けたい」と答えた方の「積極的に参加している」の割合が高くなっています。



問 15 【問 14 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」とお答えになった方におうかがいします。】「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由として、「活動に参加する時間がない」が 29.6%、「興味のある活動に対する情報がない」が 13.8%、「活動に興味がない」「人間関係がわずらわしい」が 12.9%となっています。

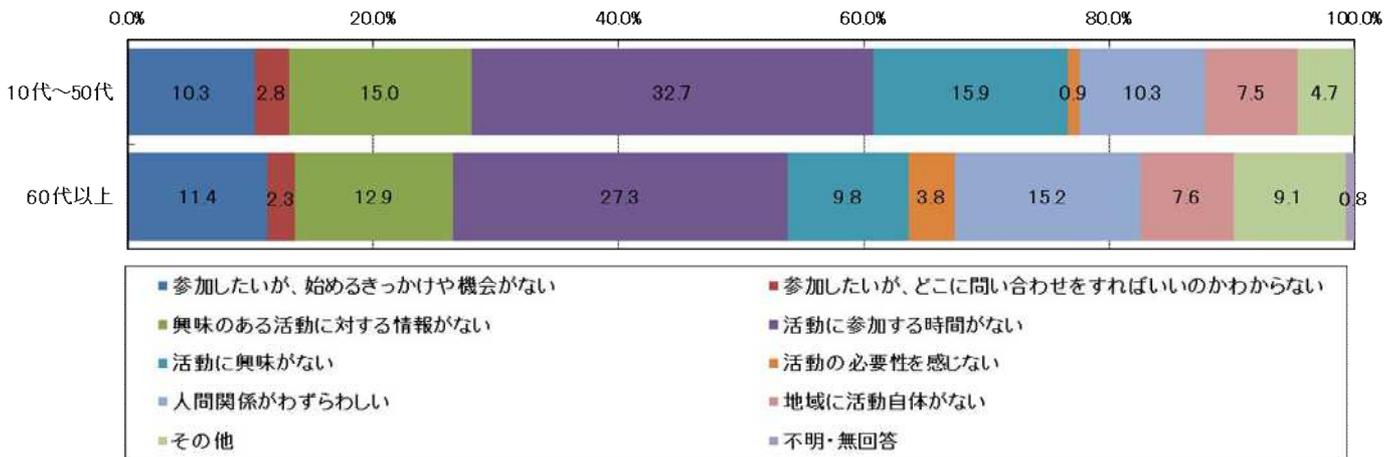
N=240



その他
健康上の不安があるため
都合が合わない

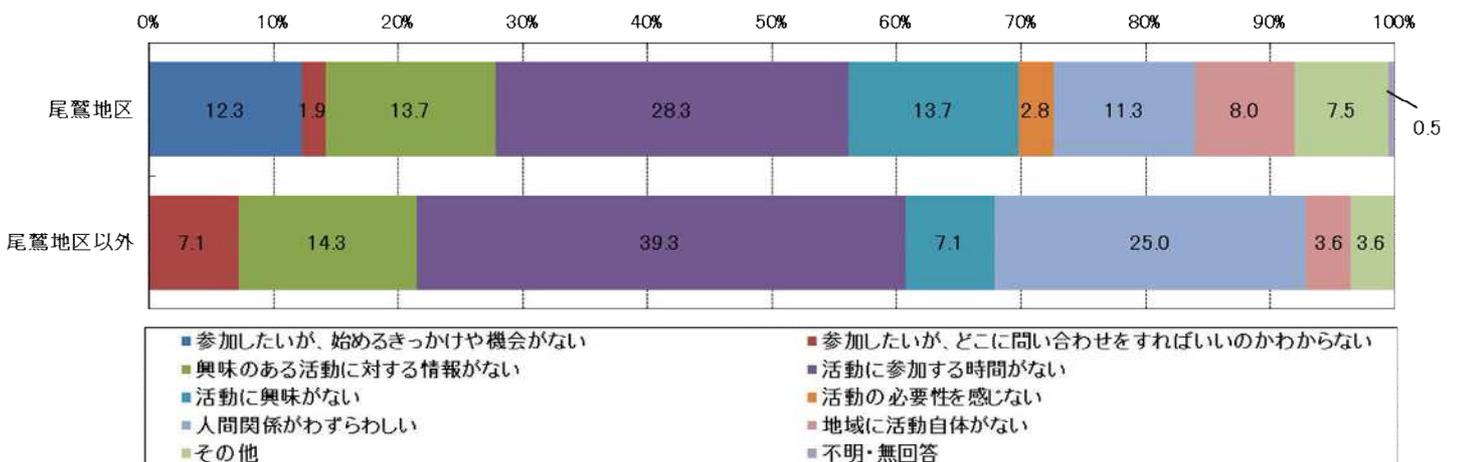
問 15×年代

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を年代別に見ると、全年代で「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「10代～50代」では「活動に興味がない」の割合が、「60代以上」では「人間関係がわずらわしい」の割合が高くなっています。



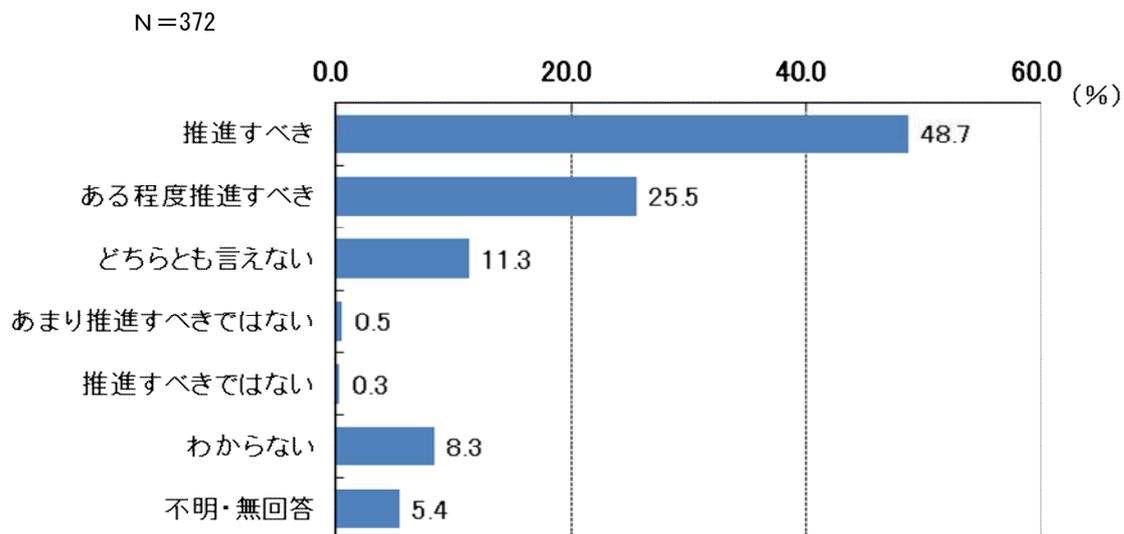
問 15×居住地区

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を地区別に見ると、「尾鷲地区」で「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「興味のある活動に対する情報がない」と「活動に興味がない」の割合が、「尾鷲地区以外」でも「活動に参加する時間がない」の割合が最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」の割合が高くなっています。



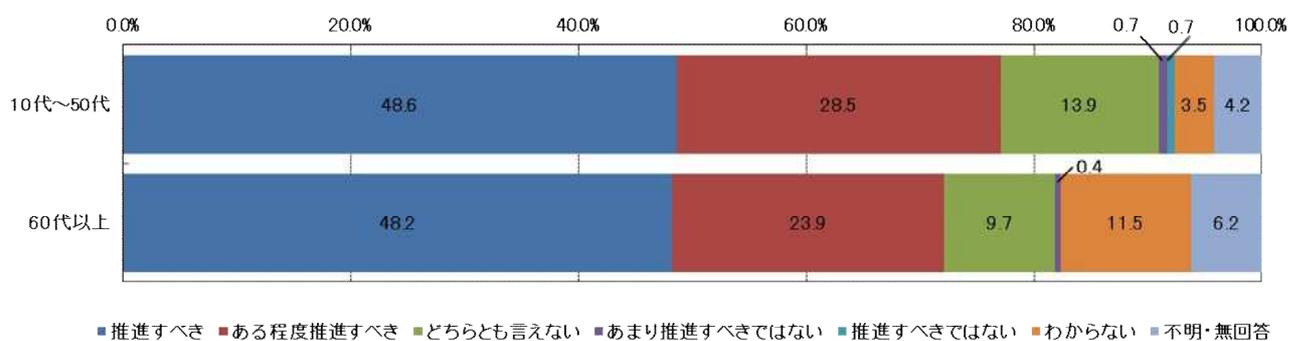
問 16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて、「推進すべき」が48.7%、「ある程度推進すべき」が25.5%と、「推進」した方が良いとの回答が7割以上となっています。



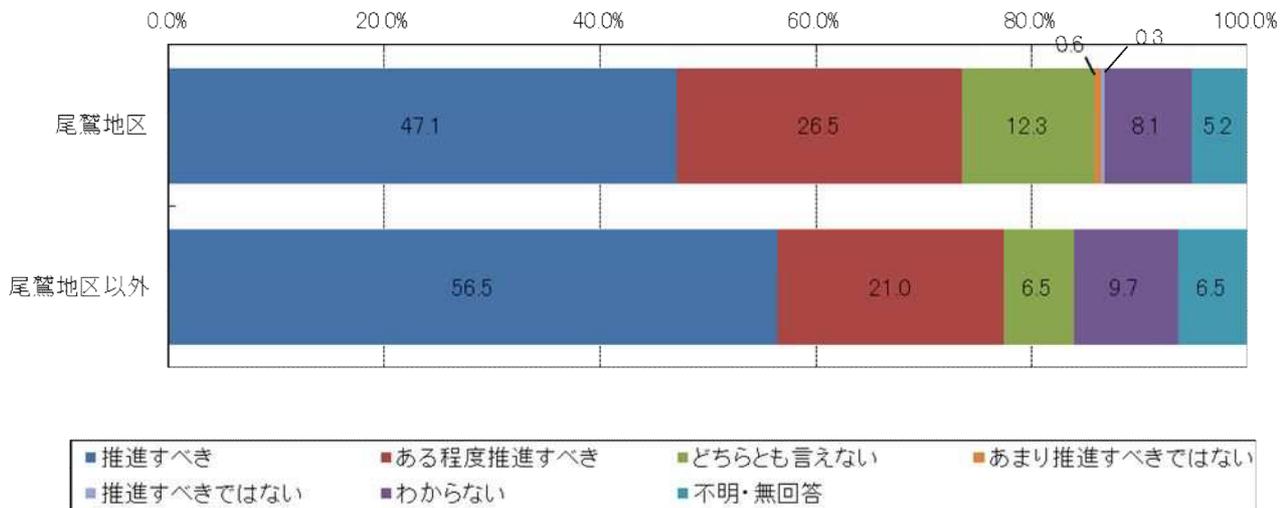
問 16×年代

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて年代別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」と答えた方は、全年代で7割以上となっています。



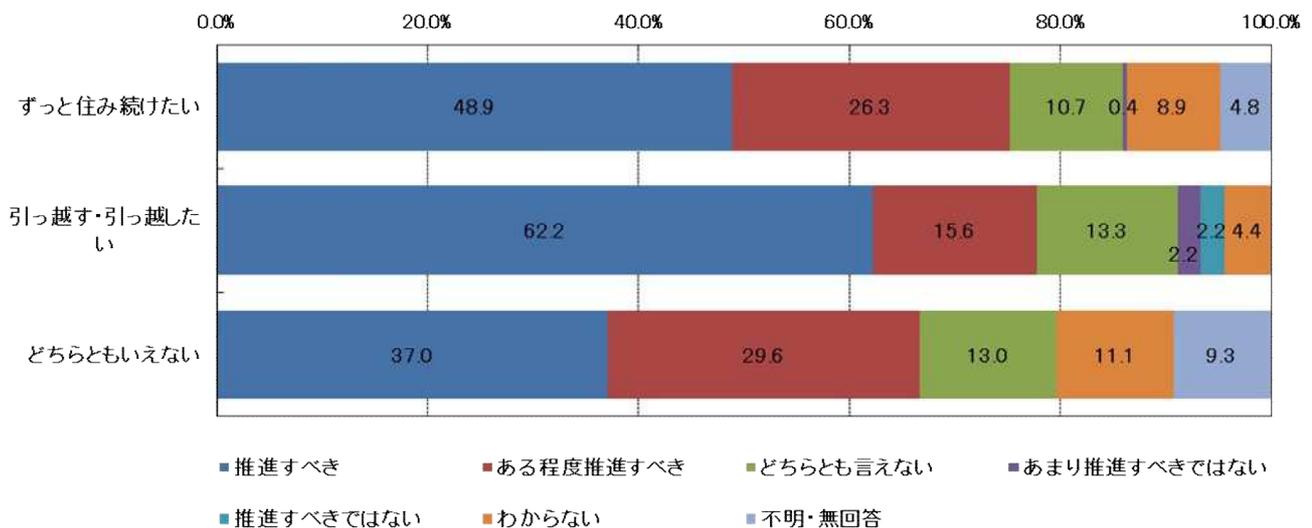
問 16×居住地区

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて地区別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「尾鷲地区以外」のほうが高くなっています。



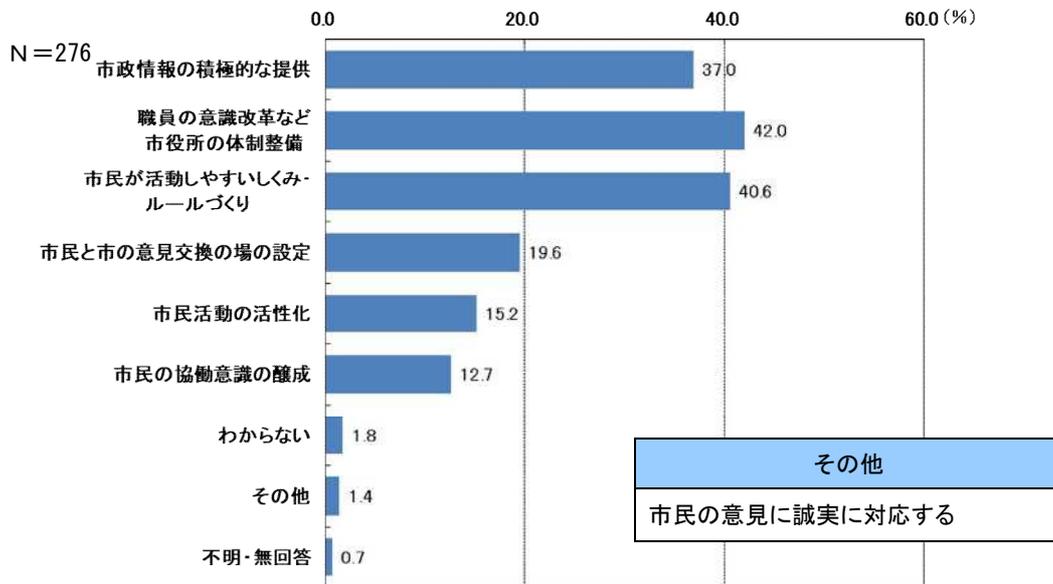
問 16×定住意向

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて定住意向別に見ると、「推進すべき」「ある程度推進すべき」の合計では、「ずっと住みたい」「引っ越す・引っ越したい」共に同程度となっています。



問 17 【問 16 で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」とお答えになった方におうかがいします。】市民との協働のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。（複数回答）

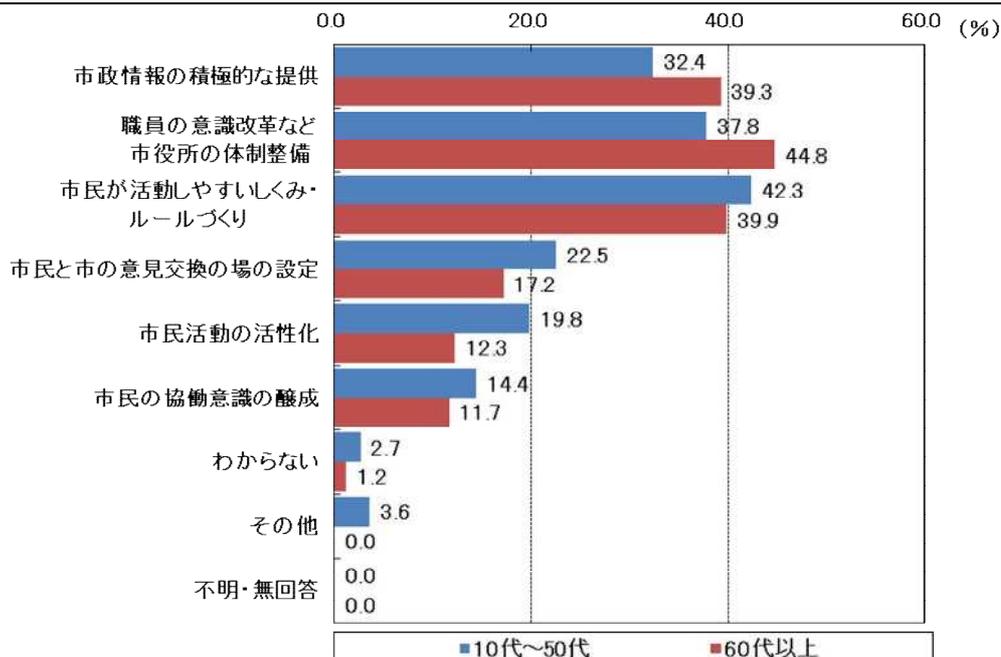
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきこととして、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が42.0%、「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」が40.6%となっています。



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

問 17×年代

市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきことを年代別に見ると、「10代～50代」で「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」の割合が高くなっており、「60代以上」では「職員の意識改革など市役所の体制整備」の割合が高くなっています。

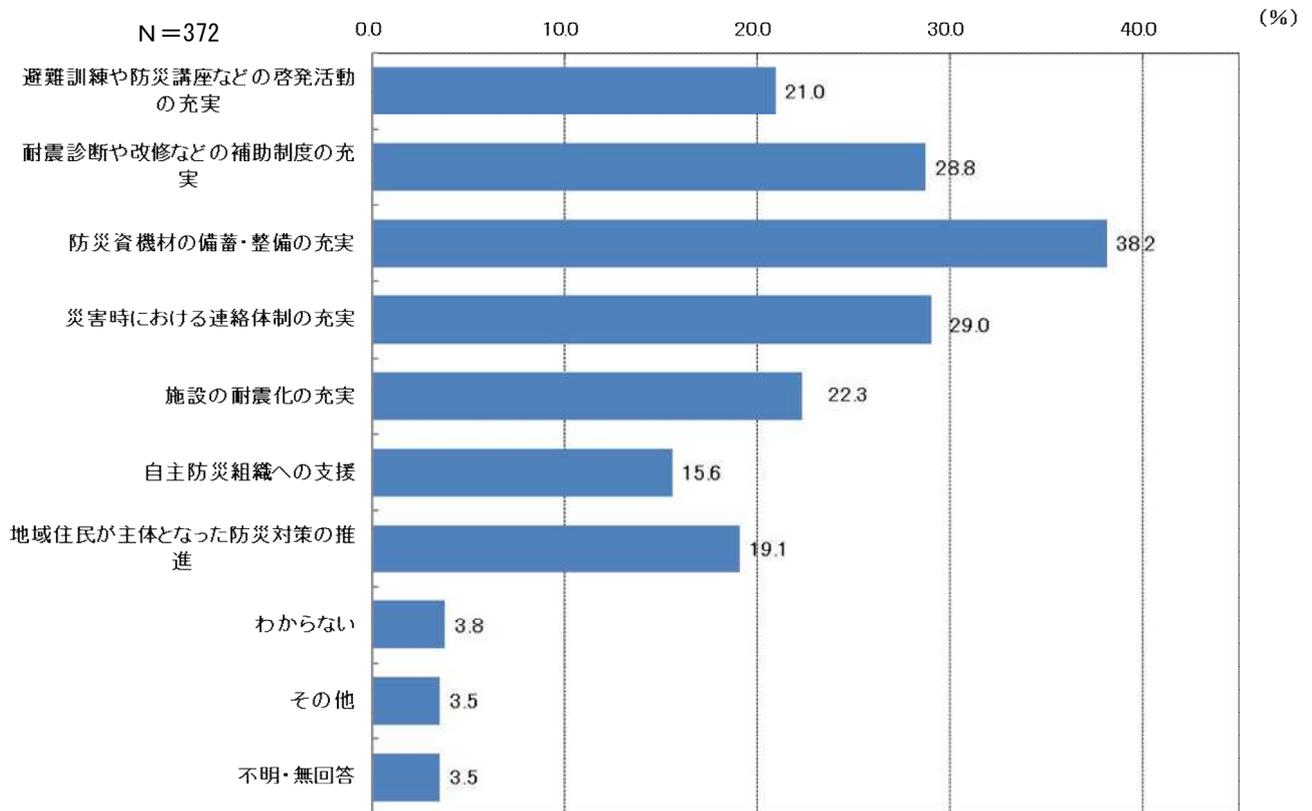


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【安全】

問 18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、「防災資機材の備蓄・整備の充実」が38.2%、「災害時における連絡体制の充実」が29.0%、「耐震診断や改修などの補助制度の充実」が28.8%となっています。

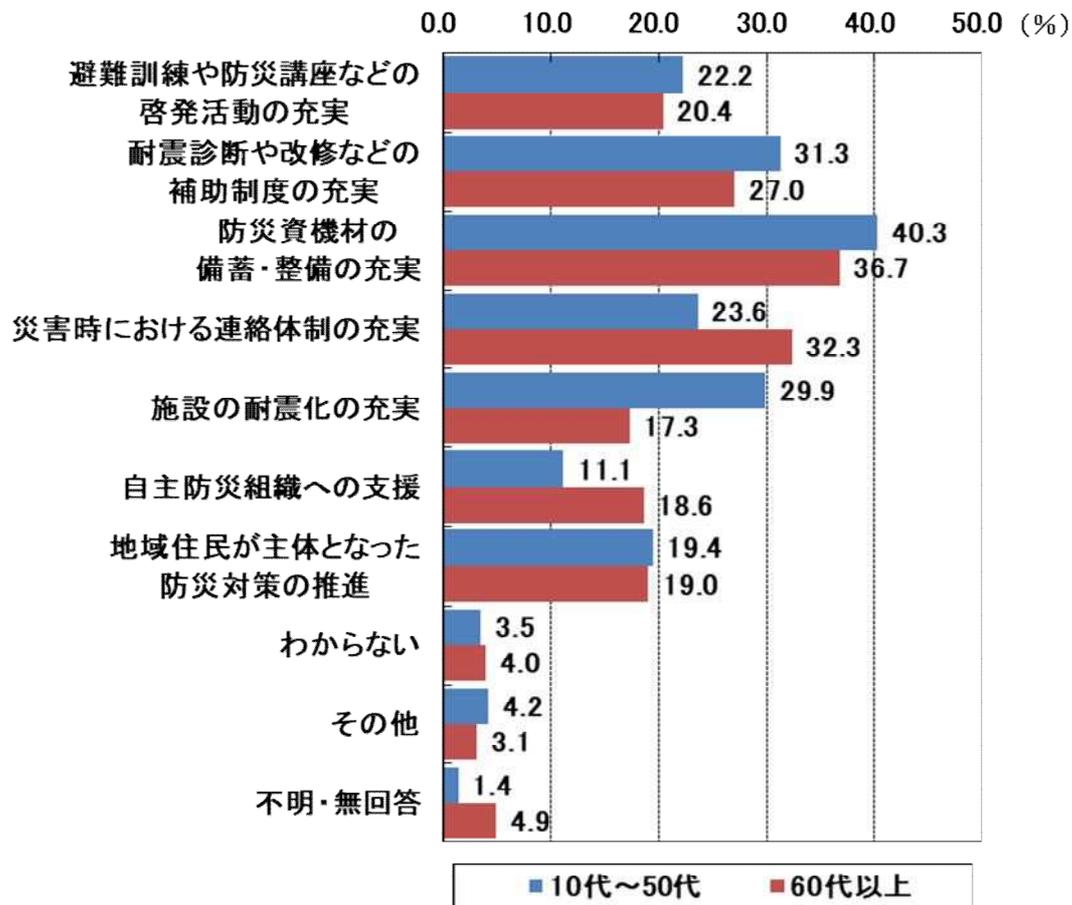


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
避難タワー等の防災施設の設置
避難経路の確保・整備
津波浸水域からの住み替え制度の推進
避難場所等のわかりやすい周知

問 18×年代

災害による被害防止策を年代別に見ると、全年代で「防災資器材の備蓄・整備の充実」の割合が高くなっています。

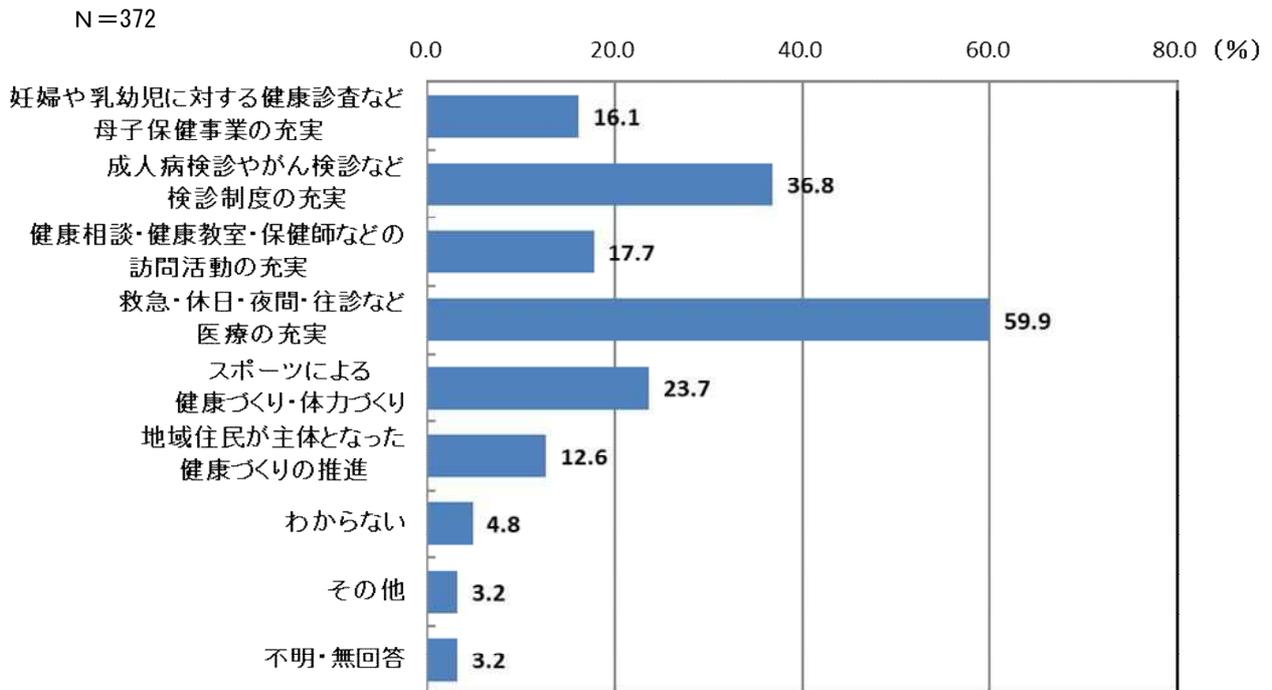


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【健康づくり】

問 19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。（複数回答）

健康づくりの充実策として、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が59.9%、「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」が36.8%、「スポーツによる健康づくり・体力づくり」が23.7%となっています。

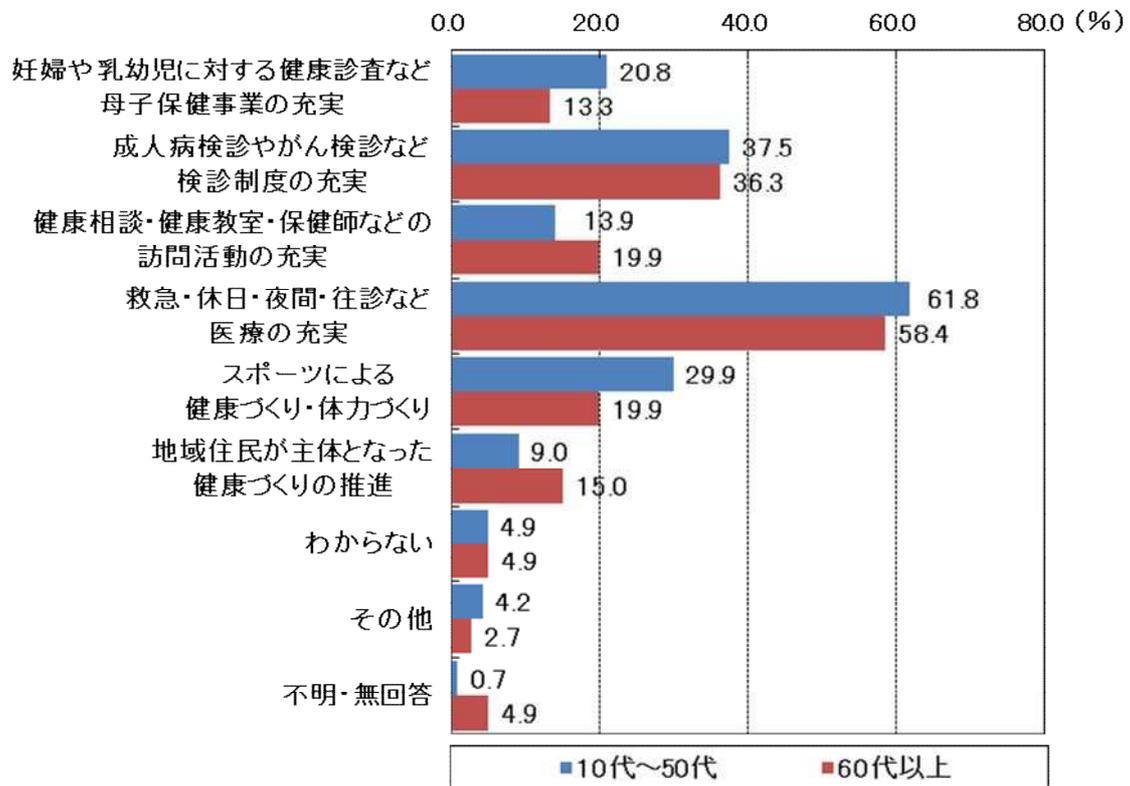


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
プールやジム等の施設の設置
安全にウォーキングができるような環境の整備
尾鷲総合病院の診療体制の充実

問 19×年代

健康づくりの充実策を年代別に見ると、全年代で「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」の割合が最も高く、次いで「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」の割合が高くなっています。



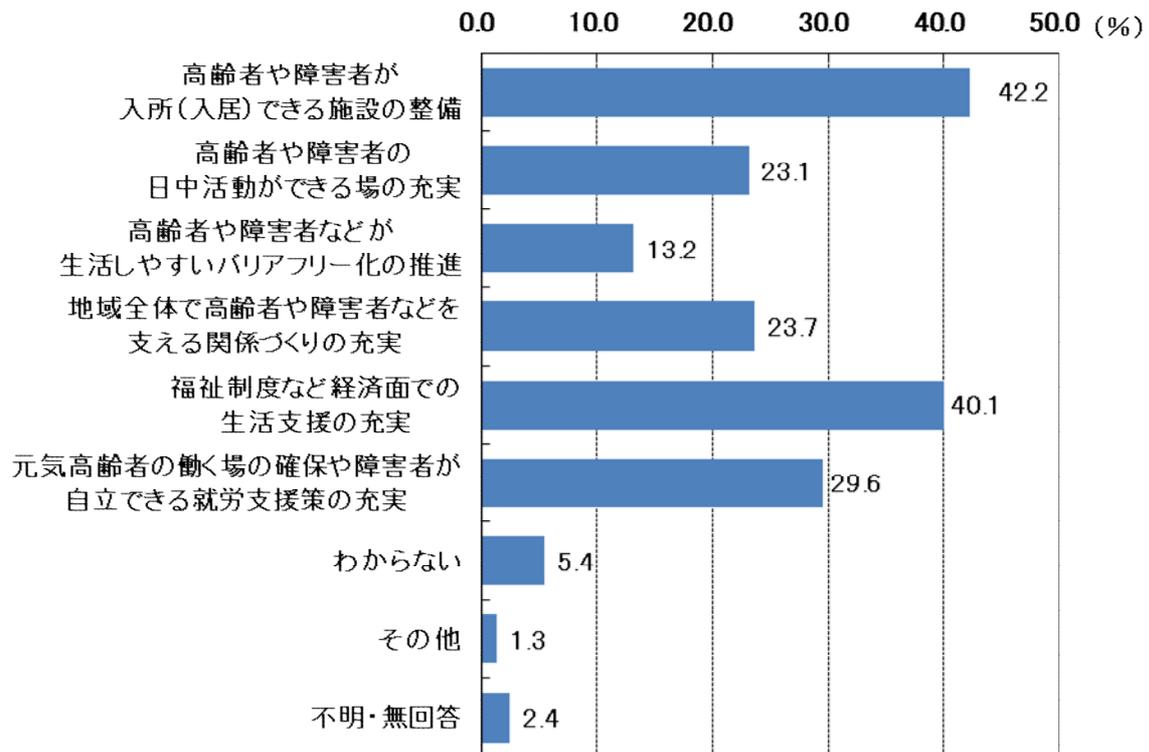
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【福祉】

問 20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

福祉の充実策として、「高齢者や障害者が入所(入居)できる施設の整備」が42.2%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が40.1%、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が29.6%となっています。

N=372

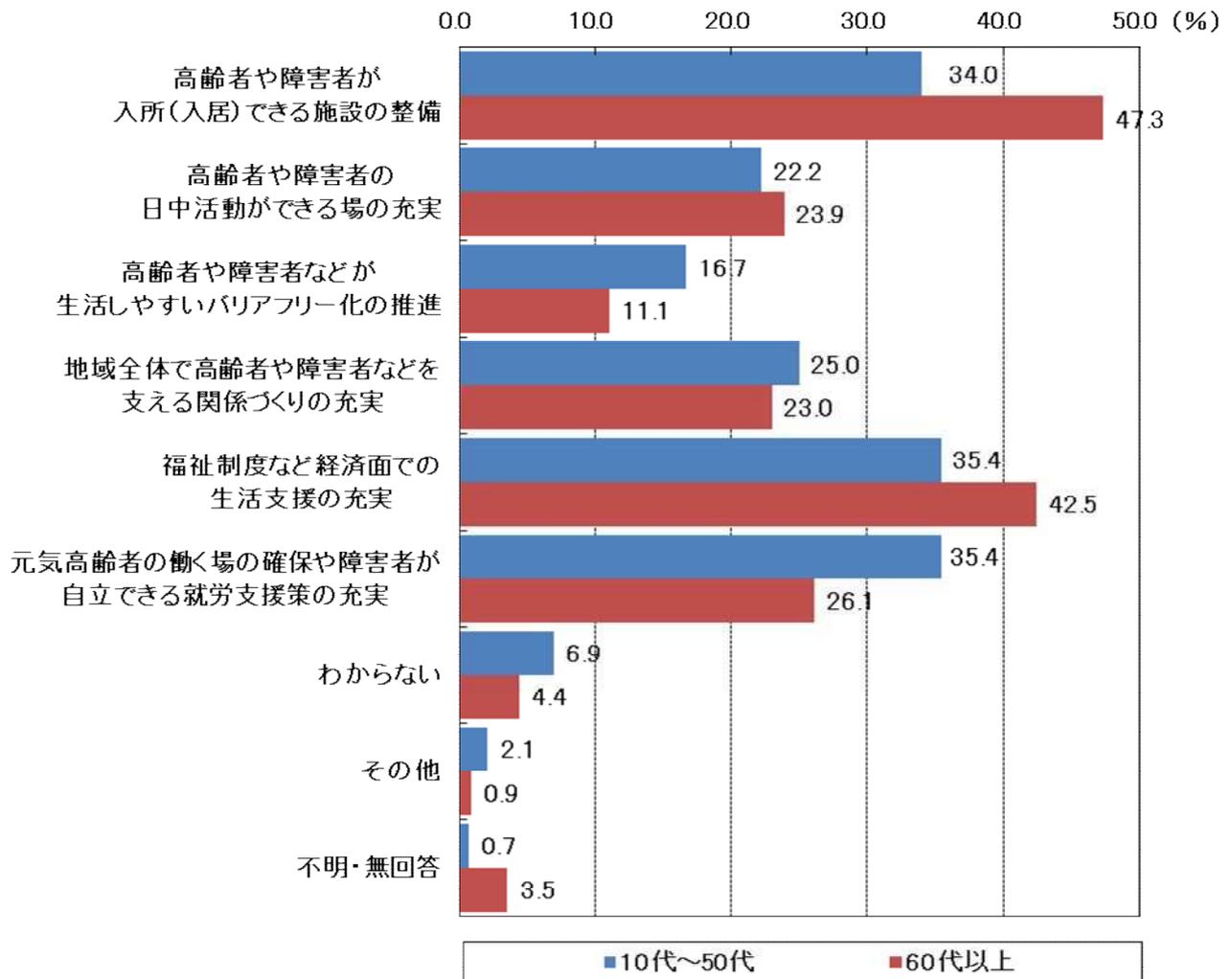


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
買い物支援や移動手段の充実

問 20×年代

福祉の充実策を年代別に見ると、「10代～50代」では「福祉制度など経済面での生活支援の充実」「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実」が35.4%、「60代以上」では「高齢者や障害者が入所(入居)できる施設の整備」が47.3%と最も割合が高くなっています。



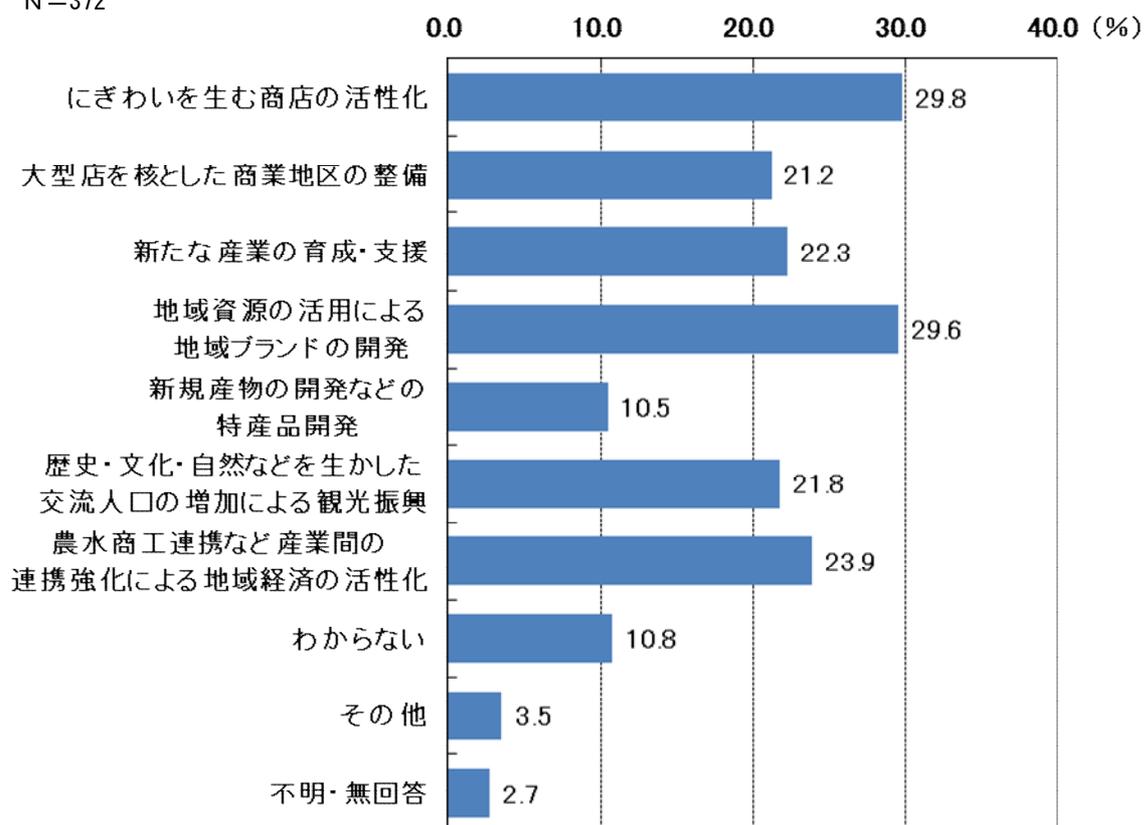
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【産業振興】

問 21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

産業振興・活性化策として、「にぎわいを生む商店の活性化」が29.8%、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」が29.6%、「農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化」が23.9%となっています。

N=372

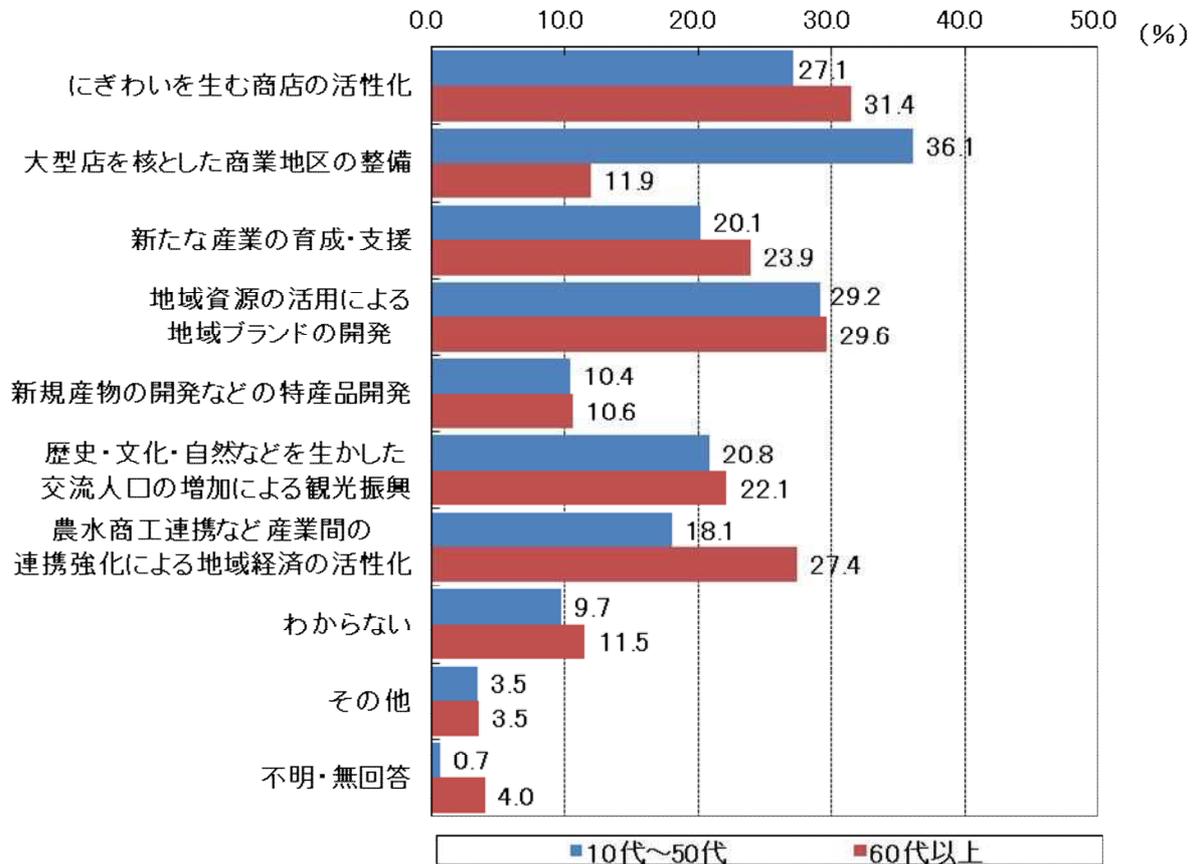


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
企業誘致
第一次産業の体験や販売スペースの設置
産業振興・活性化のための人材育成

問 21×年代

産業振興・活性化策を年代別に見ると、「10代～50代」では「大型店を核とした商業地区の整備」が36.1%、「60代以上」では「にぎわいを生む商店の活性化」が31.4%と最も高くなっています。



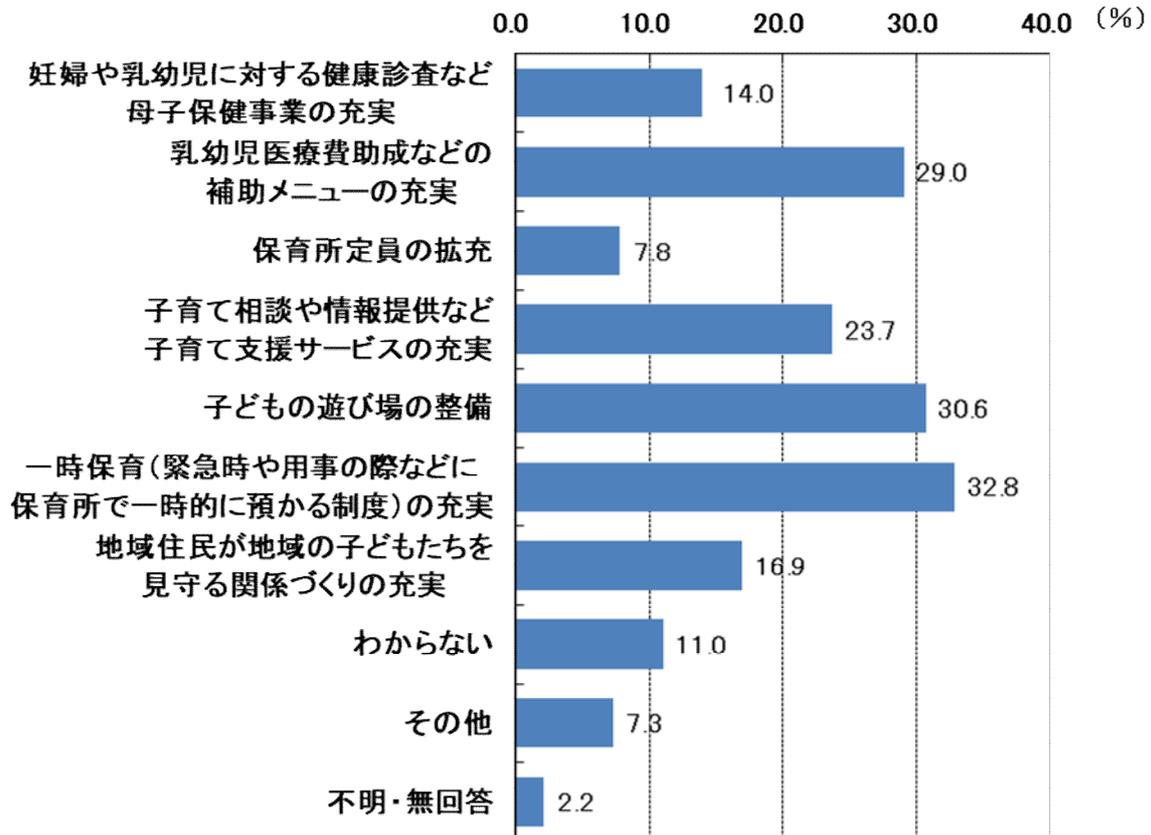
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【子育て環境】

問 22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

少子化への対応として、「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実」が32.8%で最も高く、次いで「子どもの遊び場の整備」が30.6%となっています。

N=372

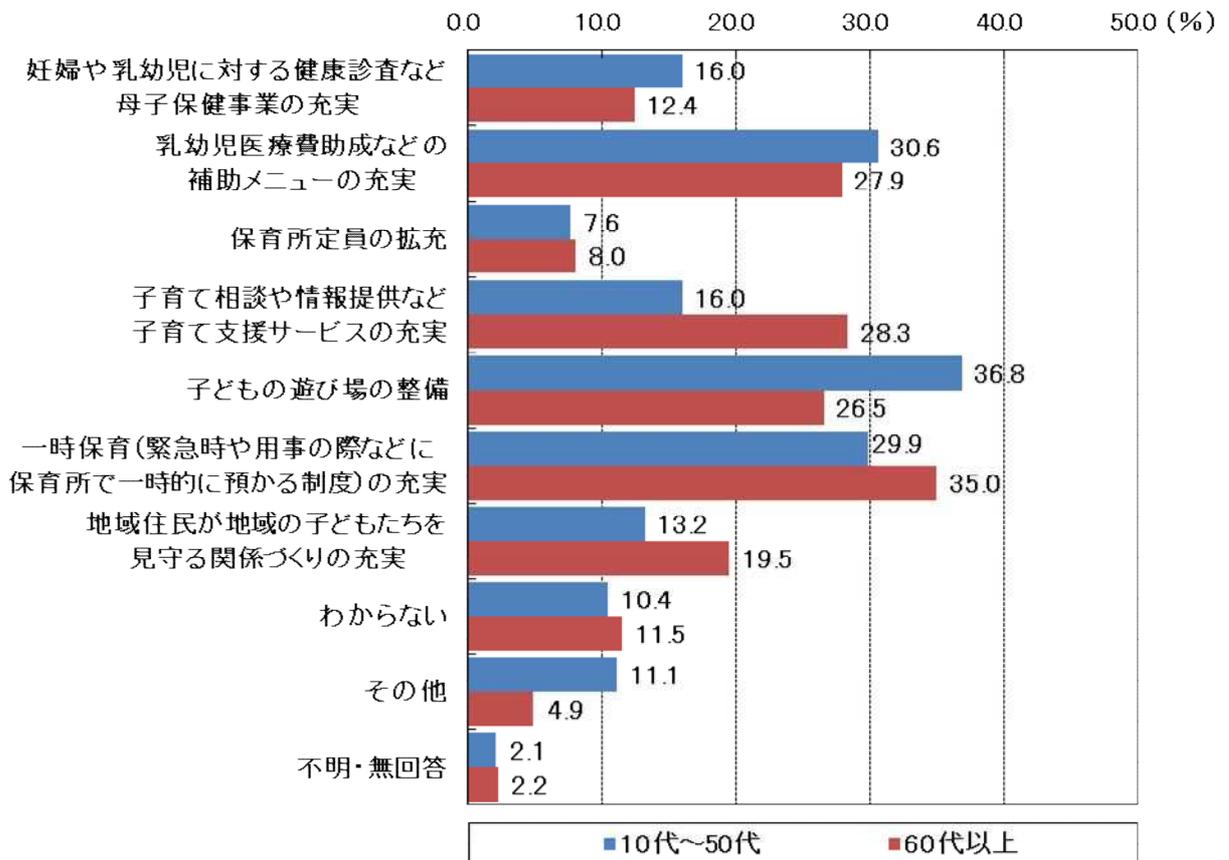


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
子育て世帯への医療費助成制度の充実
病院・小児科の充実
働く場所や住居など、若い世代が生活できる環境の整備
婚活支援や出会いの場の創設
若者の移住者を増やす

問 22×年代

少子化への対応を年代別に見ると、「10代～50代」で「子どもの遊び場の整備」の割合が最も高く、次いで「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」の割合が高くなっており、「60代以上」では「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実」の割合が最も高く、次いで「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」の割合が高くなっています。

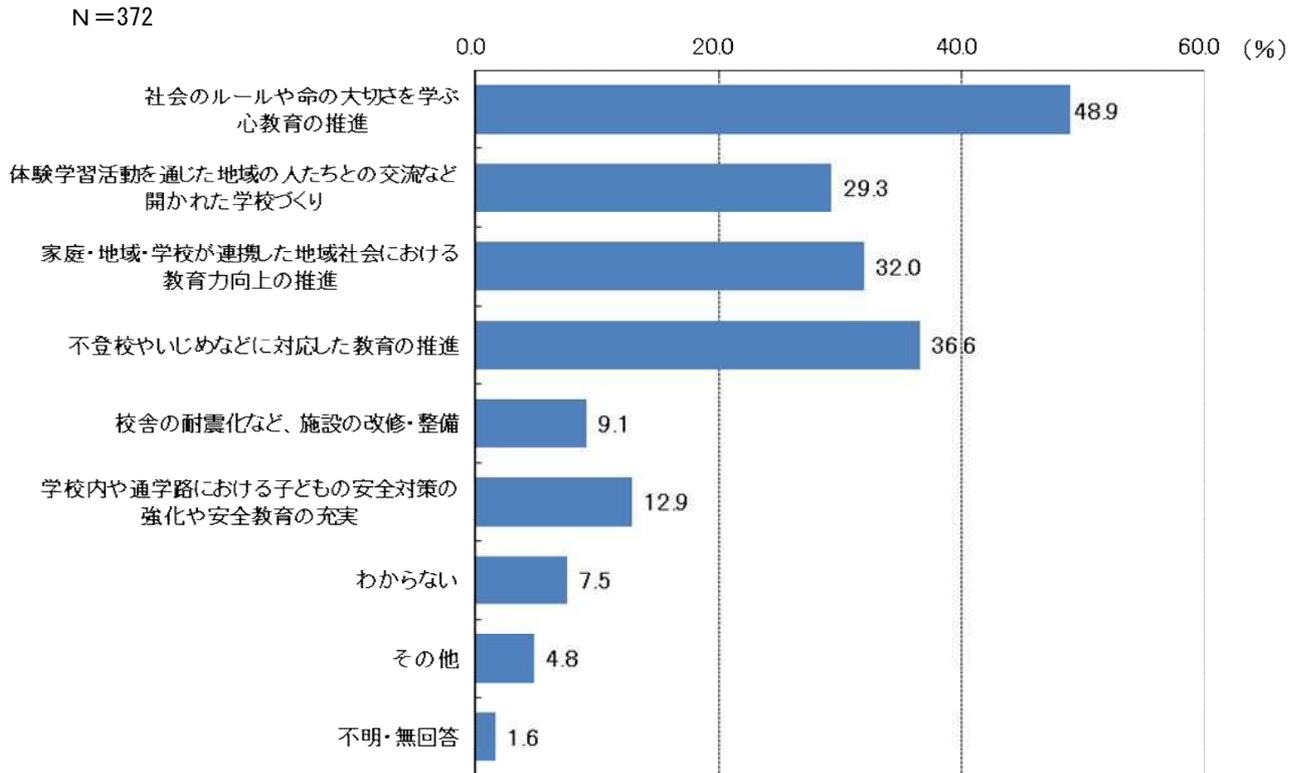


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【学校教育】

問 23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

学校教育の充実策として、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が48.9%、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が36.6%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が32.0%となっています。

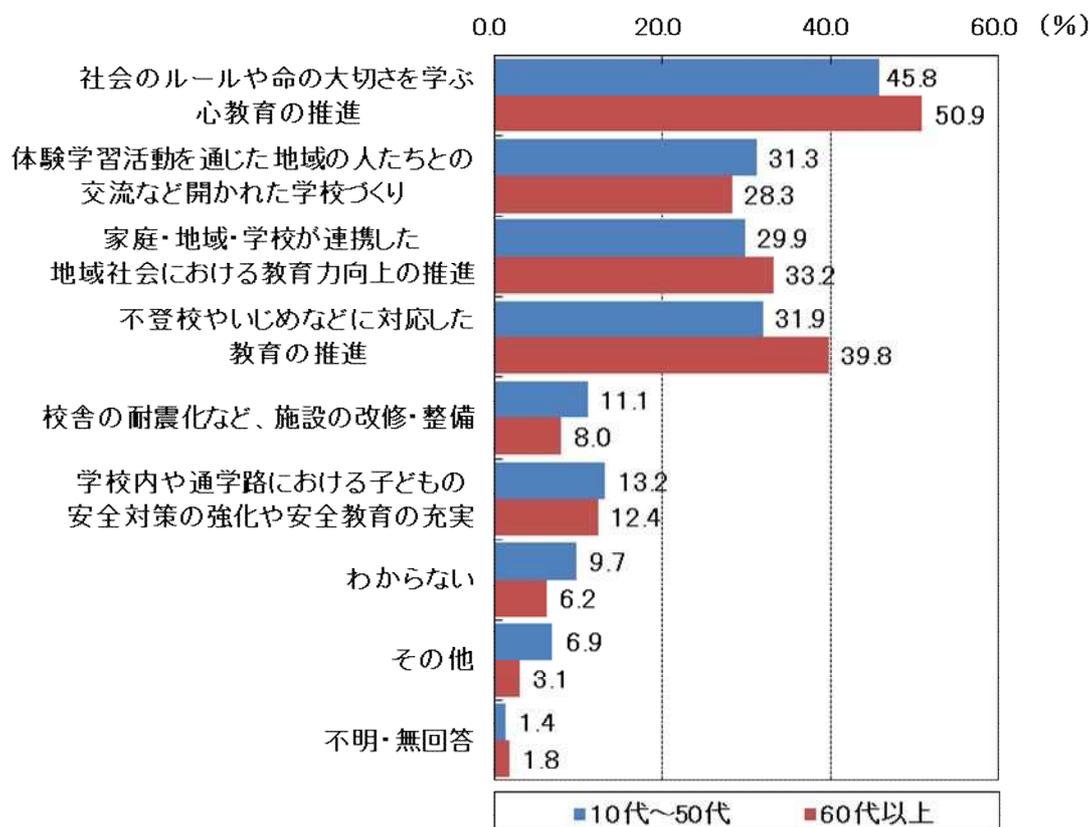


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
教育内容の充実
教職員の充実
都市部との教育格差の解消
進路の実現がかなう学力向上のための取り組み

問 23×年代

学校教育の充実策を年代別に見ると、全年代で「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」の割合が最も高く、次いで「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」の割合が高くなっています。



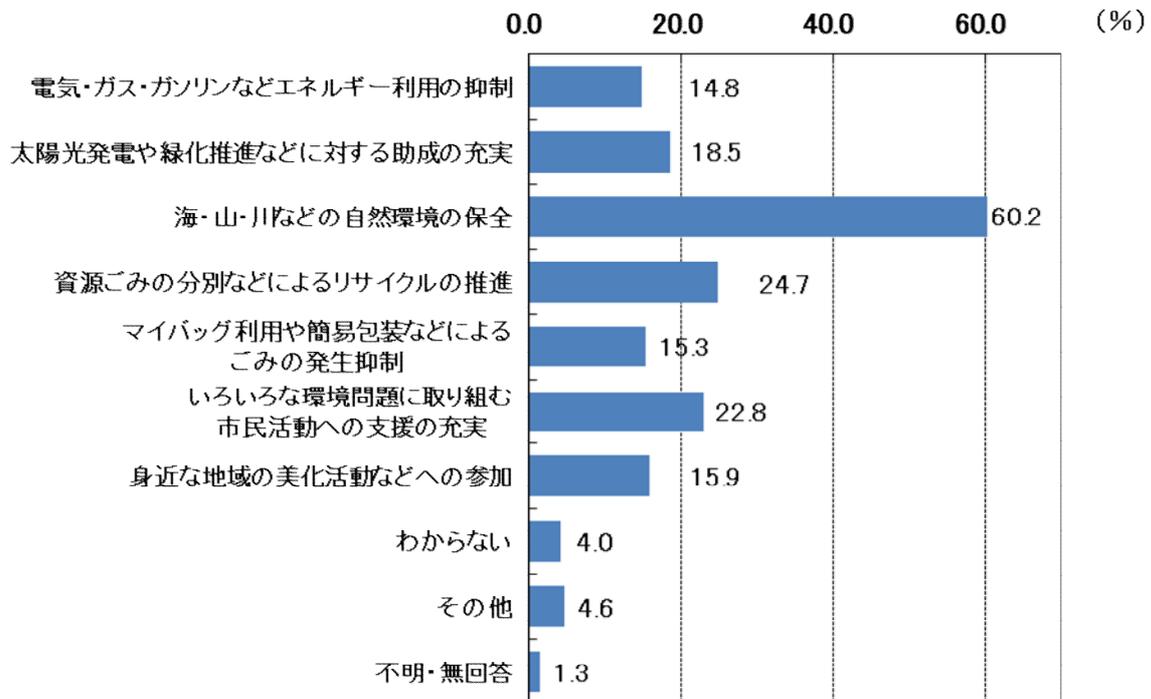
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【環境】

問 24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(複数回答)

環境を良くする方策として、「海・山・川などの自然環境の保全」が60.2%、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が24.7%となっています。

N=372

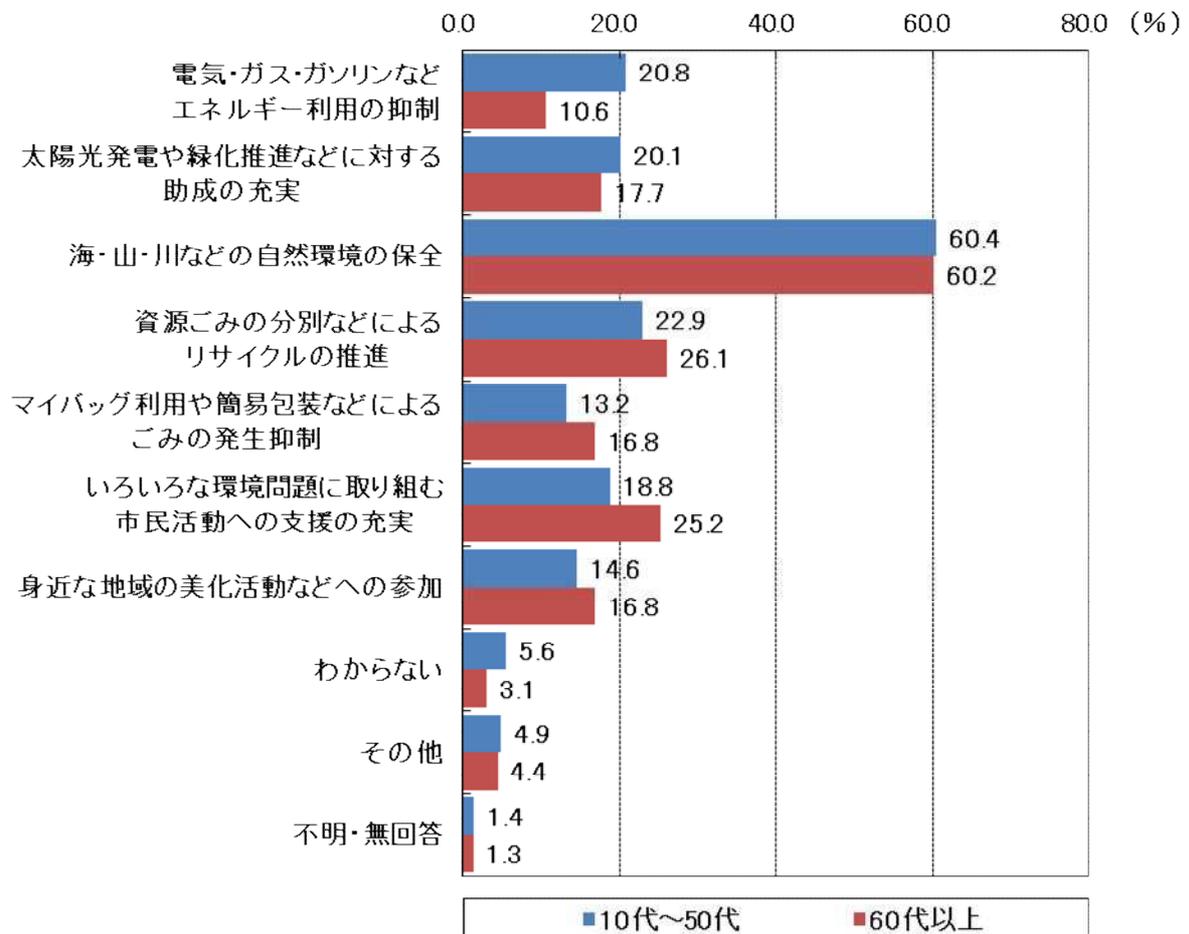


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
市民の意識向上のための取組
環境教育の充実
自然環境保全のための施設整備

問 24×年代

環境を良くする方策としては、全年代で「海・山・川などの自然環境の保全」の割合が最も高くなっており、次いで「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」の割合が高くなっています。



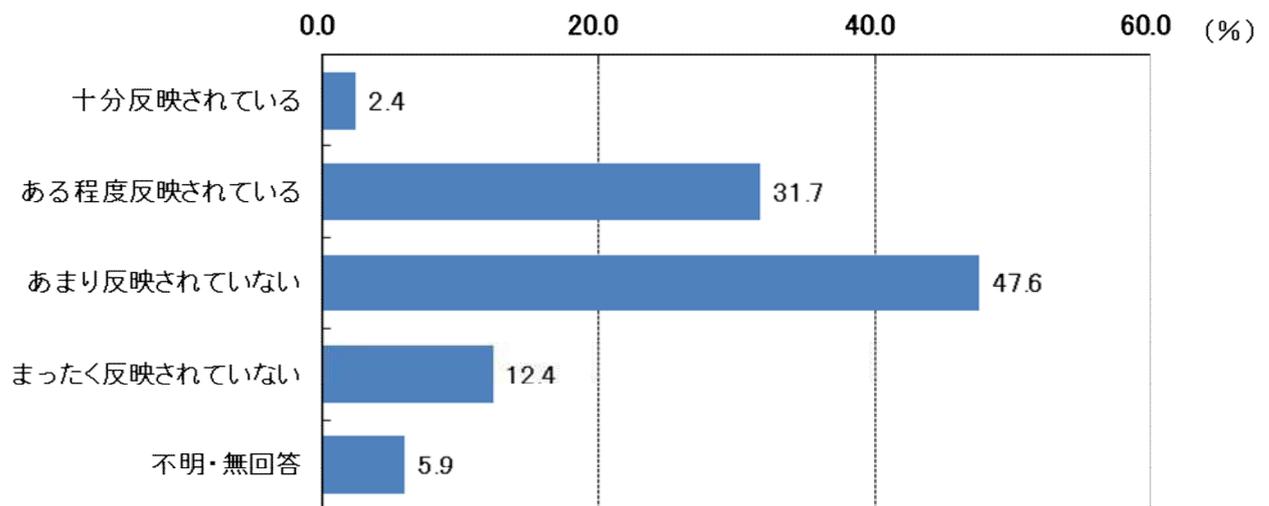
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【市民意見の反映】

問 25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

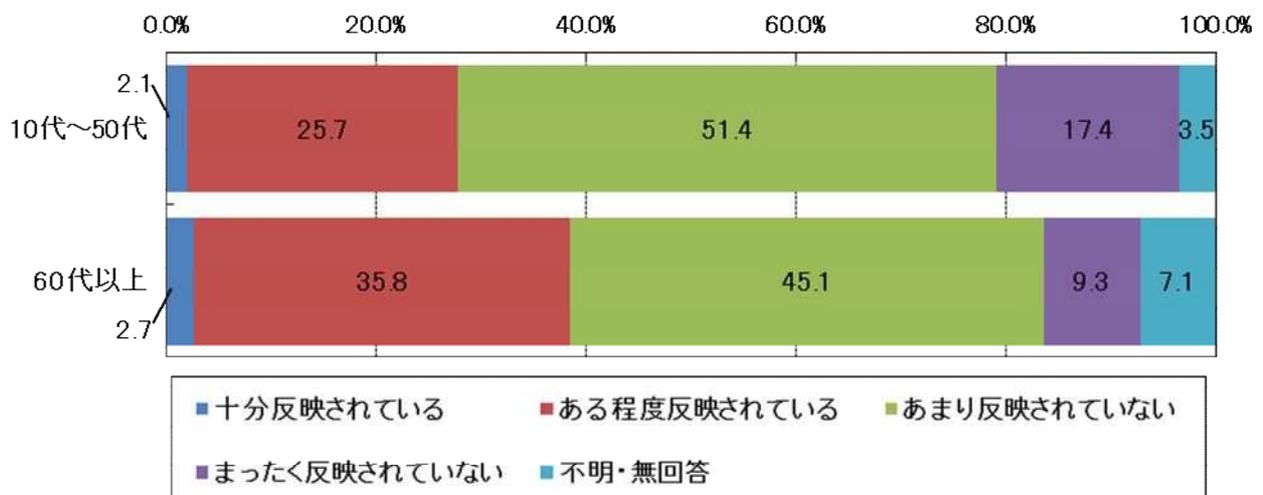
市政への市民意向の反映状況として、「あまり反映されていない」が47.6%、「まったく反映されていない」が12.4%と、合計で60.0%が「反映されていない」と回答しています。

N=372



問 25×年代

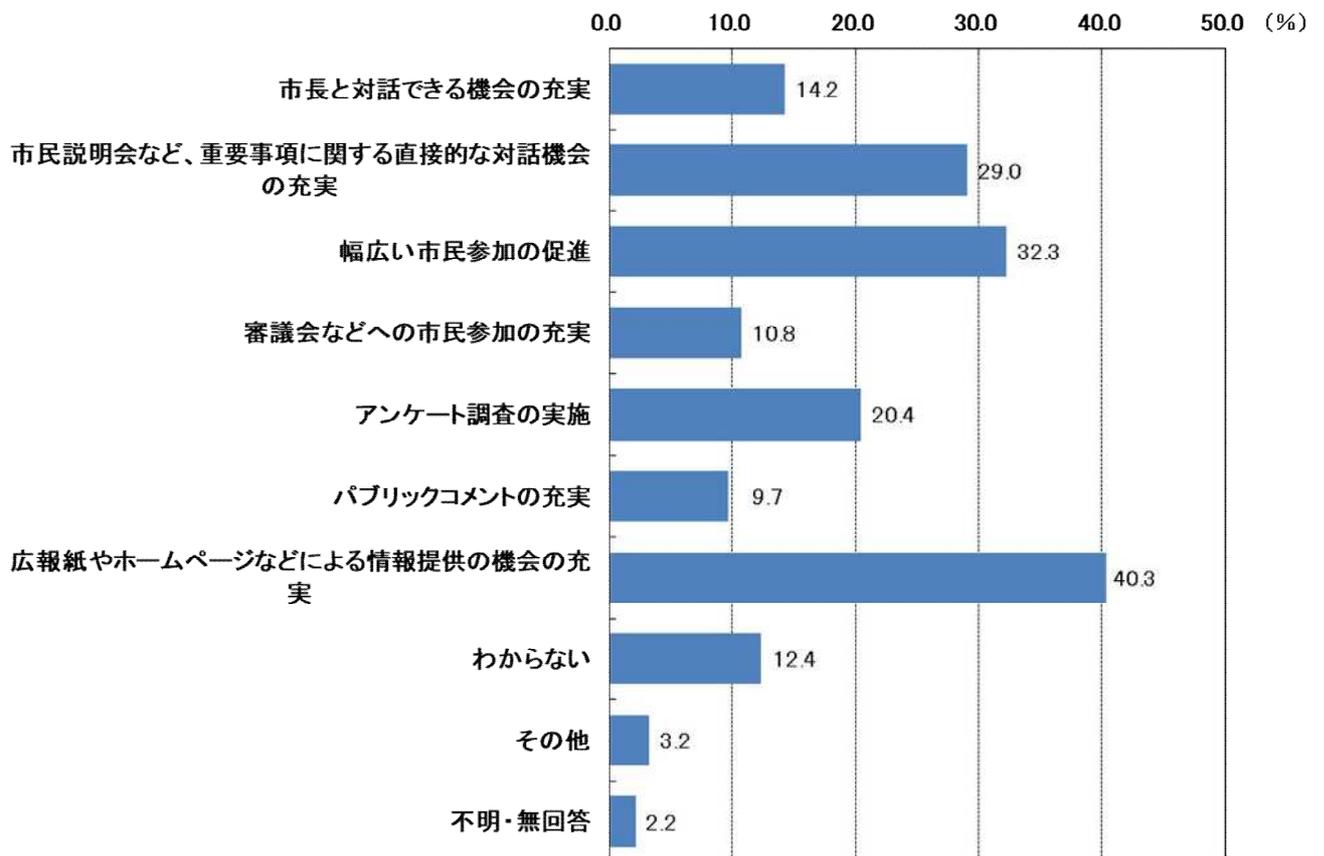
市政への市民意向の反映状況を年代別に見ると、「あまり反映されていない」「まったく反映されていない」の合計が、「10代～50代」では68.8%、「60代以上」では54.4%となっています。



問 26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

市民意向を市政に反映させる方策として、「広報誌やホームページなどによる情報提供の機会の充実」が40.3%、「幅広い市民参加の促進」が32.3%、「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が29.0%となっています。

N=372

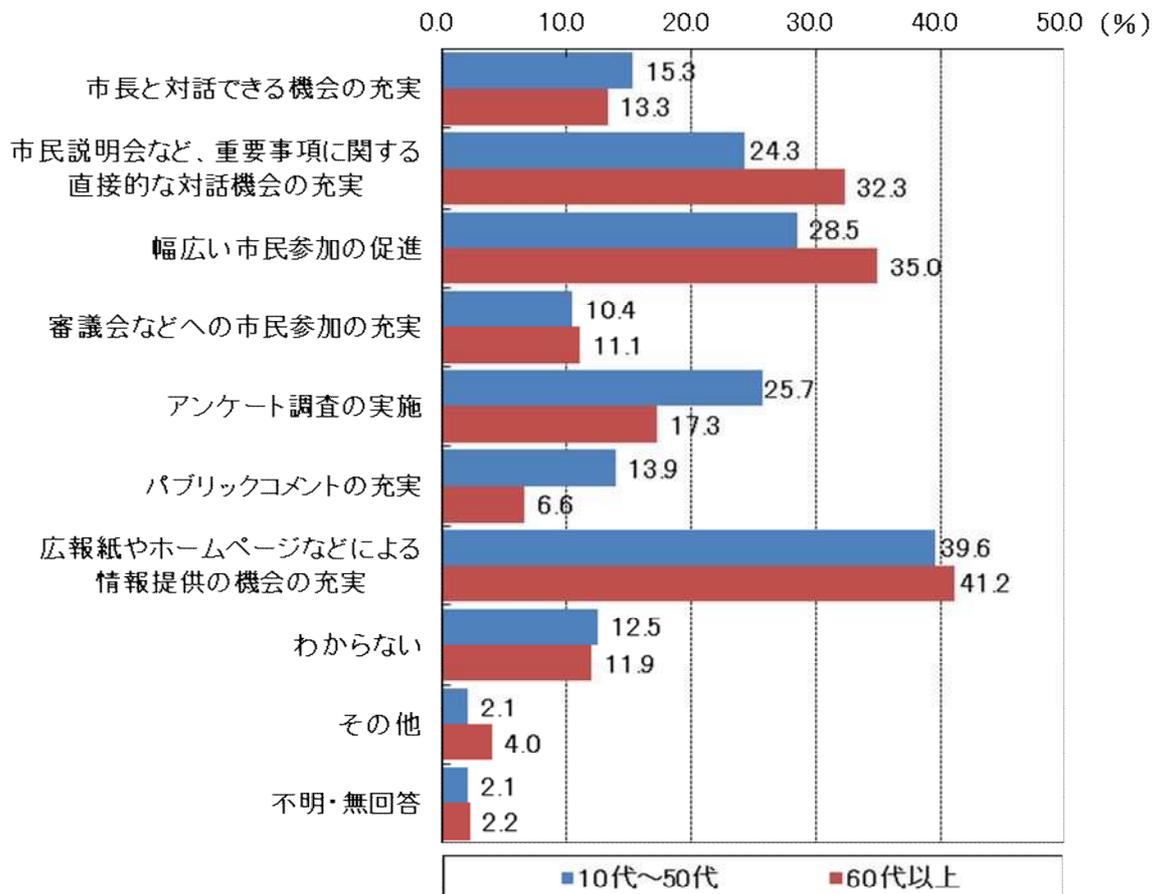


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
アンケート調査の充実
議員と対話できる機会の充実

問 26×年代

市民意向を市政に反映させる方策を年代別に見ると、全年代で「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」の割合が最も高く、次いで「幅広い市民参加の促進」の割合が高くなっています。

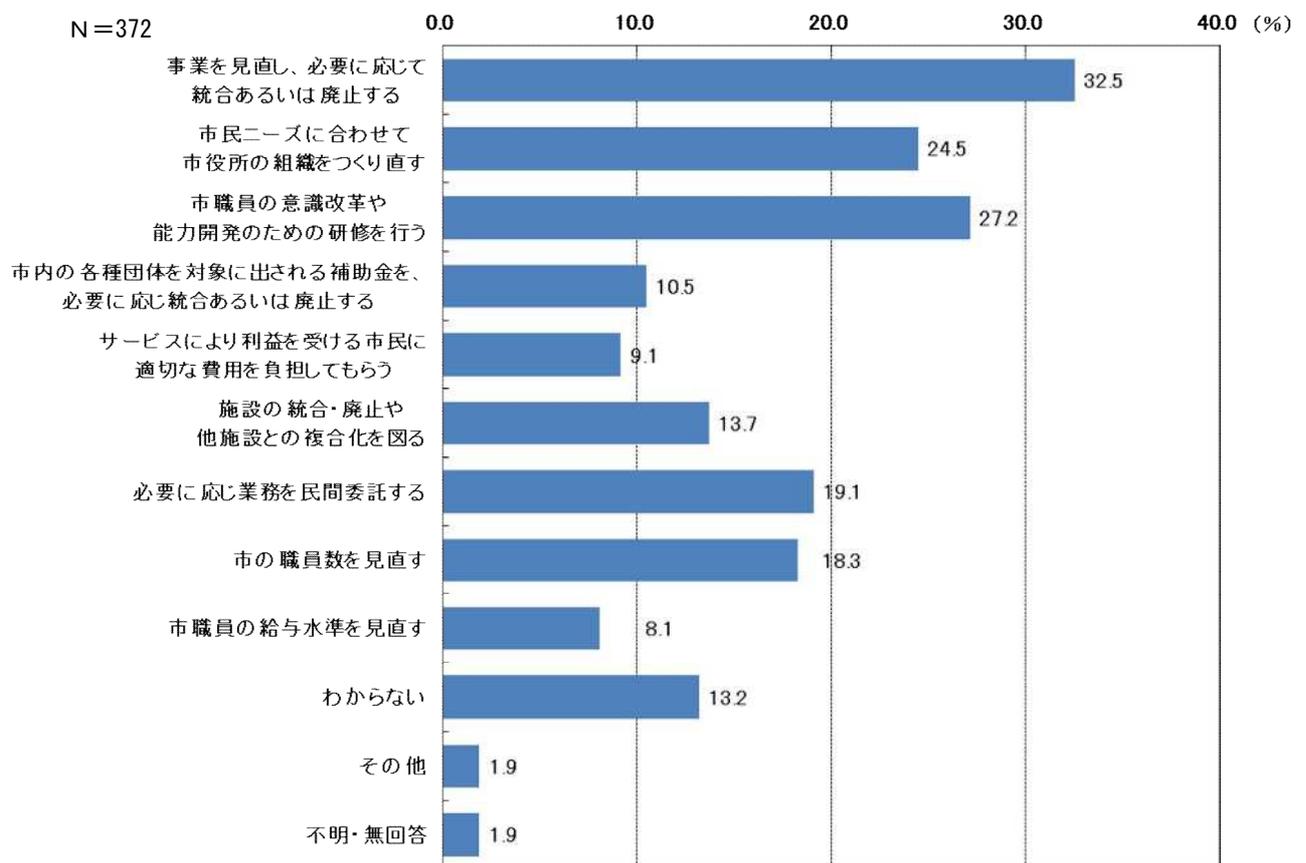


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。(複数回答)

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策として、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」が32.5%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が27.2%、「市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す」が24.5%となっています。

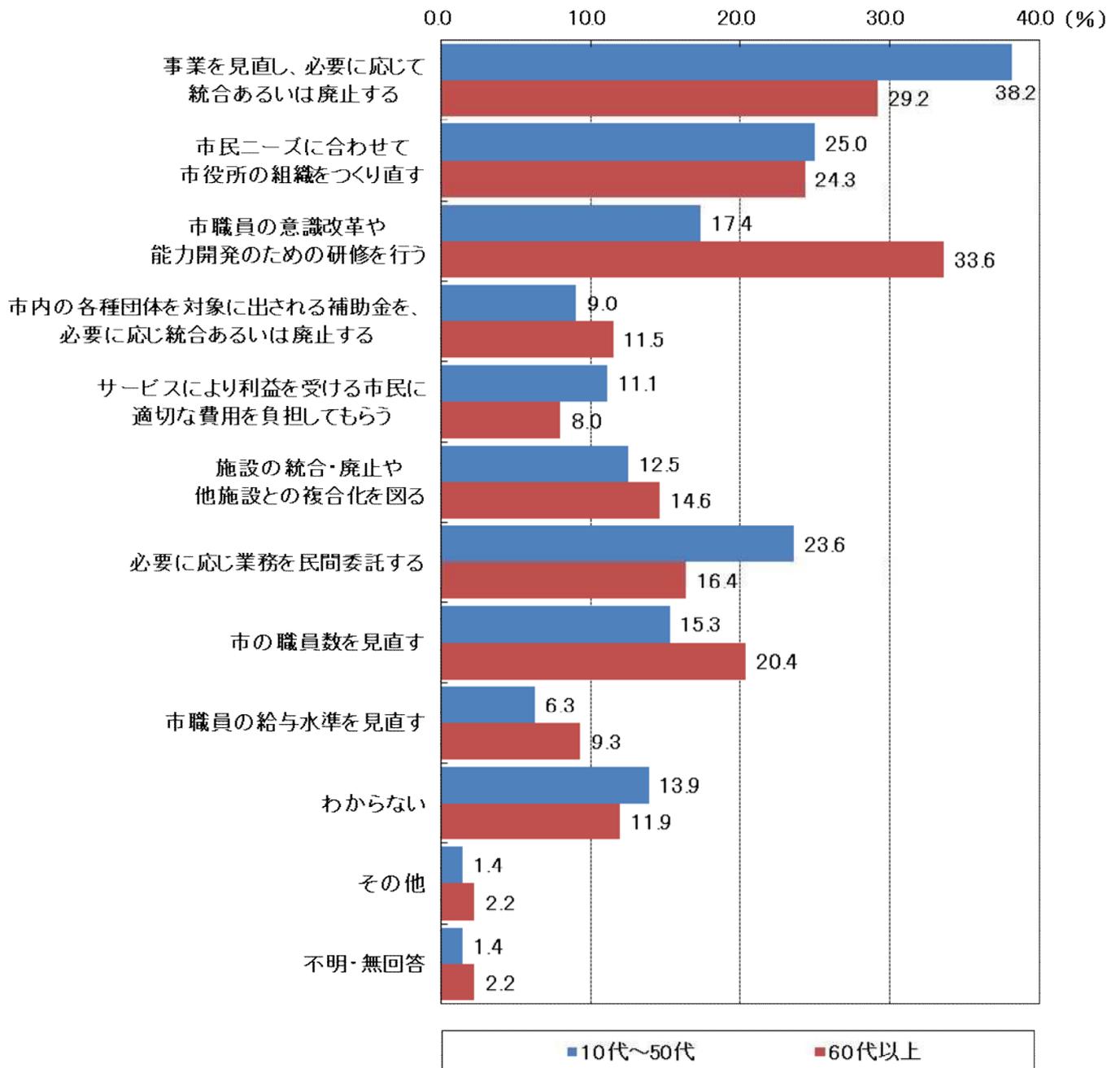


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
事業ごとの市民向けの勉強会の実施

問27×年代

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策を年代別に見ると、「10代～50代」では「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が最も高く、次いで「市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す」の割合が高くなっており、「60代以上」では「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」の割合が最も高く、次いで「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」の割合が高くなっています。



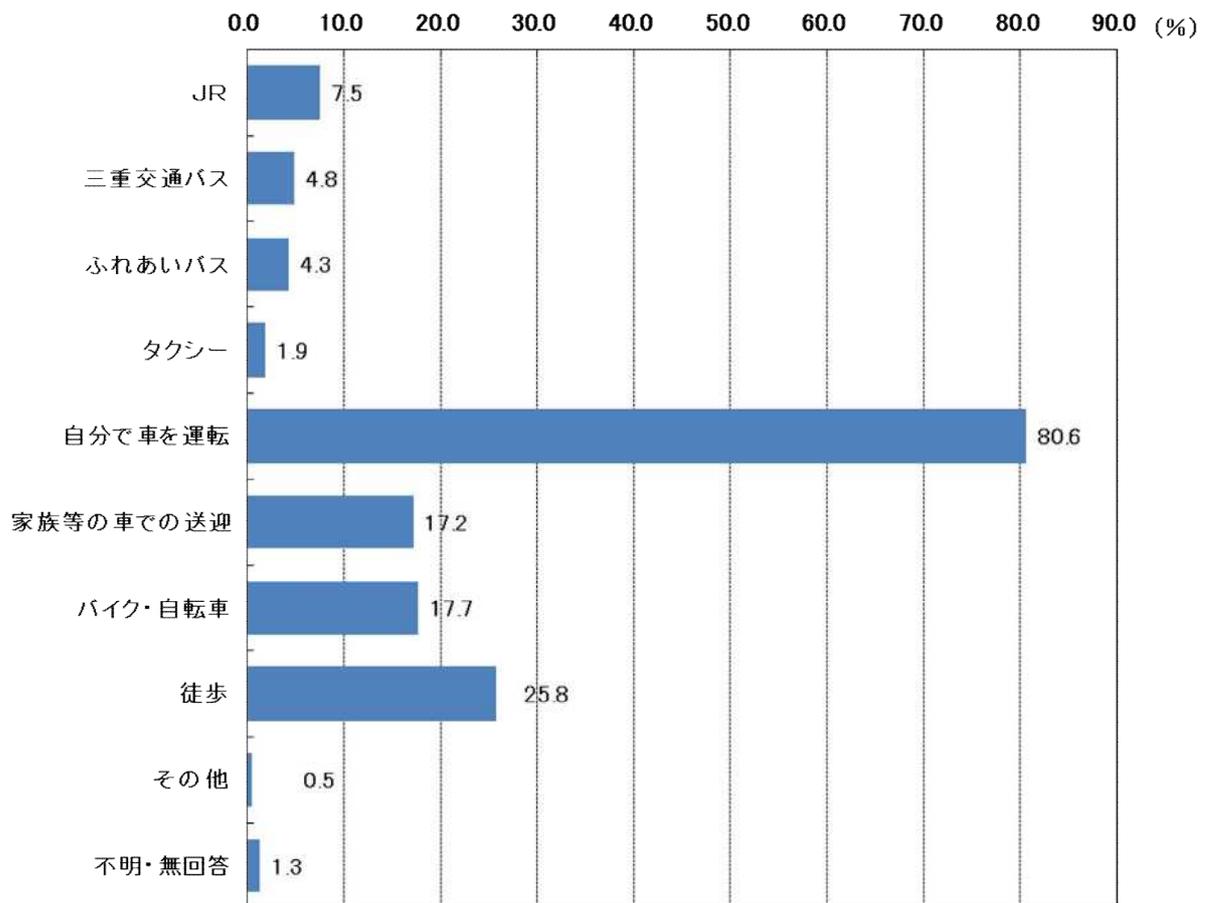
※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

【公共交通】

問28 通勤通学、買い物、通院など、普段外出する際の交通手段はどれですか。あてはまるものすべてお答えください。(複数回答)

普段外出する際の交通手段として、「自分で車を運転」が80.6%、「徒歩」が25.8%、「バイク・自転車」が17.7%となっています。

N=372



※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

4. 暮らしの満足度と今後の重要度について

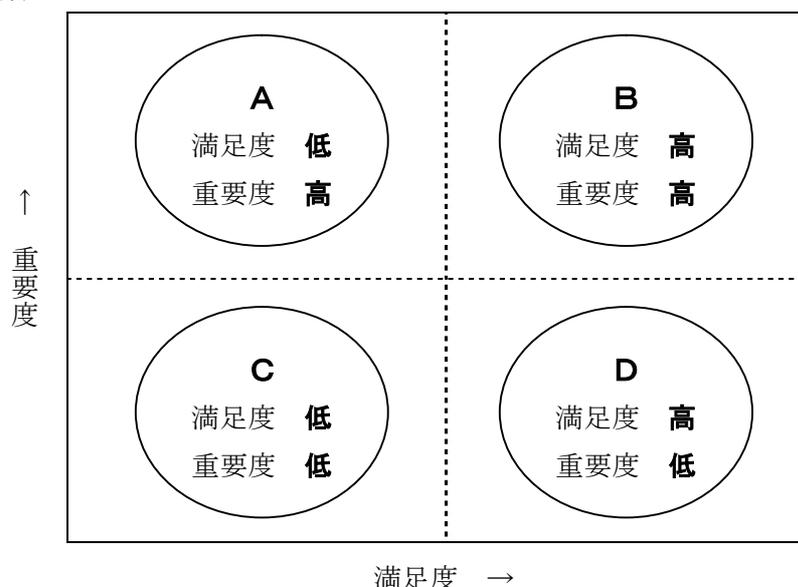
問29 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

満足度の点数化については、「満足」＝5点、「どちらかといえば満足」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば不満」＝2点、「不満」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」＝5点、「どちらかといえば重要」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

市の取り組みやサービスの分野 39 項目について、上記の基準で点数化し、散布図に落とし込みました。

■結果の分類



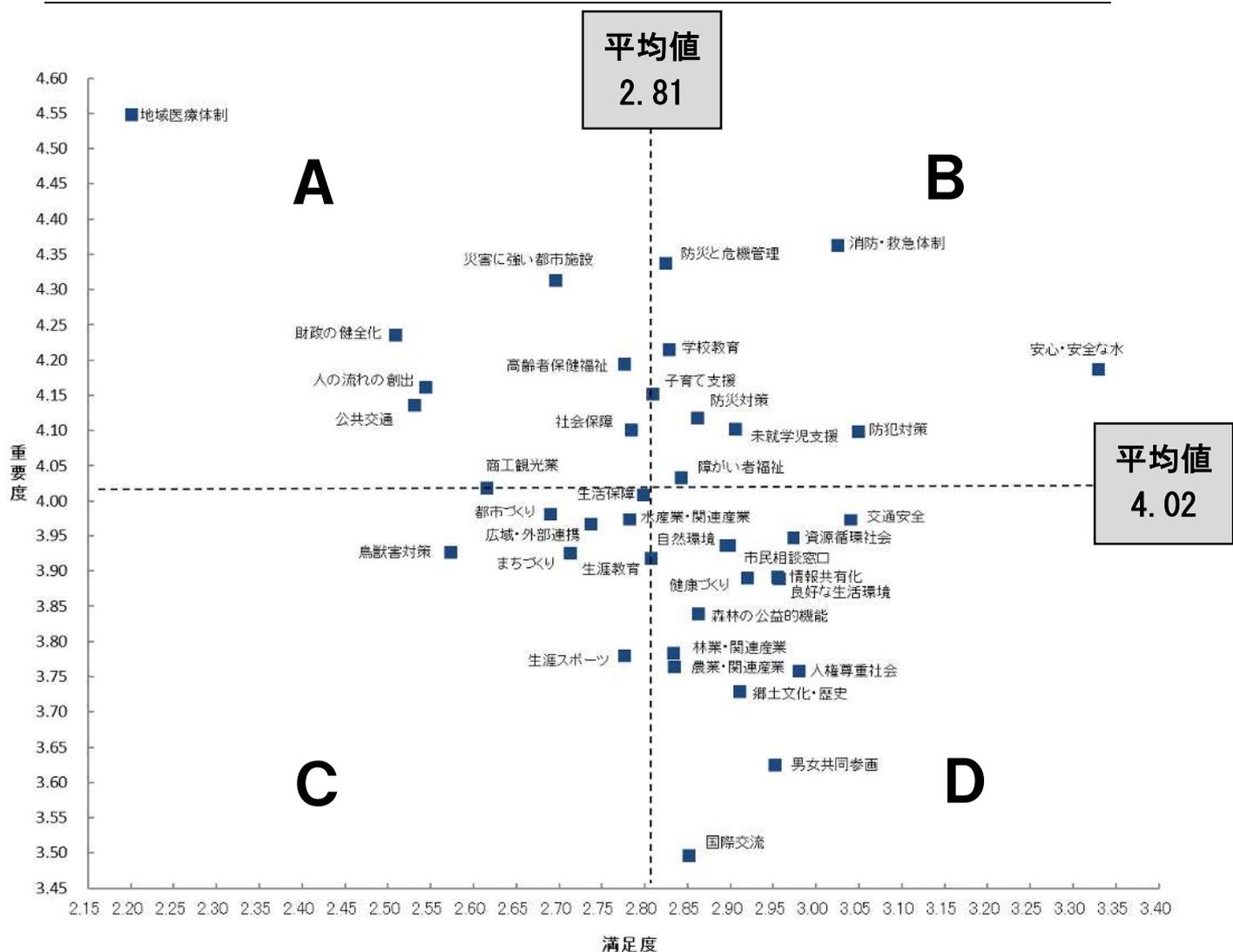
領域	説明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで 39 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

■満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、「地域医療体制」「財政の健全化」「人の流れの創出」などがAの領域に分類され、今後優先して充実することが求められている項目となります。

一方で、「国際交流」「男女共同参画」「人権尊重社会」などがDの領域に分類されています。



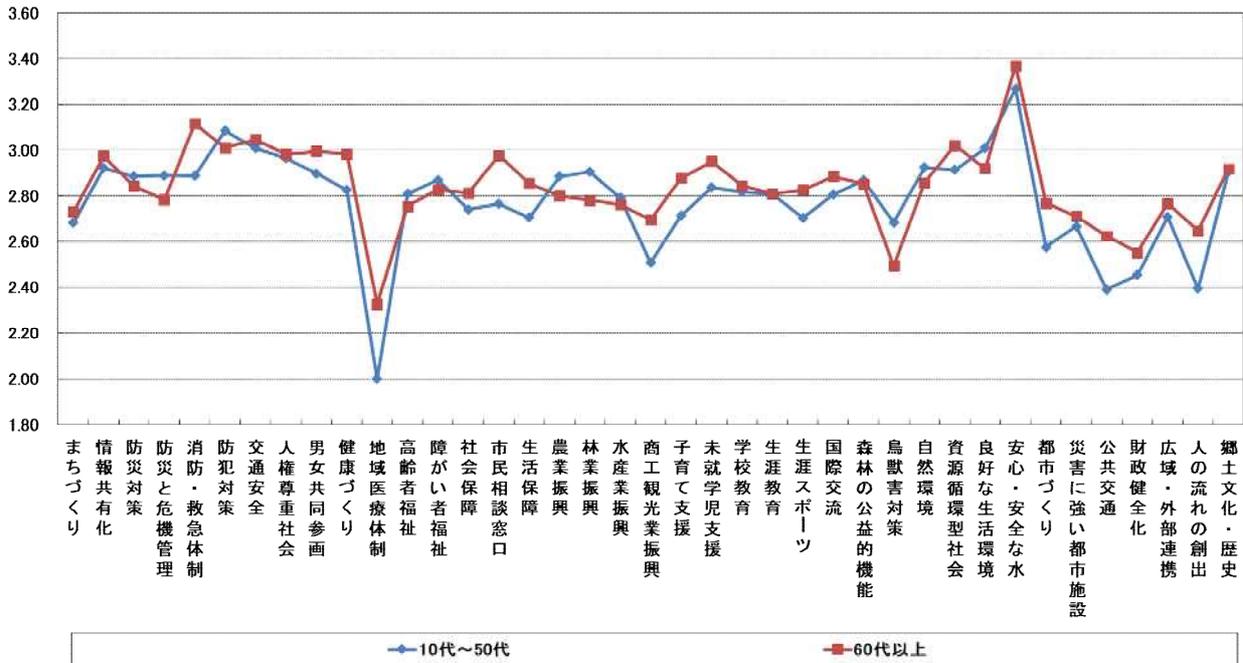
■満足度・重要度一覧

	満足度	重要度
(1) 市民参加によるまちづくり 地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど	2.71	3.93
(2) 情報共有化 広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など	2.95	3.89
(3) 市民参加による防災対策 防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど	2.86	4.12
(4) 防災と危機管理 土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など	2.82	4.34
(5) 消防・救急体制 火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など	3.03	4.36
(6) 防犯対策 犯罪の不安を感じる事のない安全で安心な取り組みなど	3.05	4.10
(7) 交通安全 交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど	3.04	3.97
(8) 人権尊重社会 人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど	2.98	3.76
(9) 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど	2.95	3.63
(10) 健康づくり ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など	2.92	3.89
(11) 地域医療体制 尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など	2.20	4.55
(12) 高齢者保健福祉 いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど	2.78	4.19
(13) 障がい者福祉 自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど	2.84	4.03
(14) 社会保障の確保 安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど	2.78	4.10
(15) 市民相談窓口の確保 必要ときに適切な相談を受けることができる取り組みなど	2.90	3.94
(16) 生活保障の確保 必要ときに適切な支援を受けることができる取り組みなど	2.80	4.01
(17) 農業振興 さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど	2.83	3.77
(18) 林業振興 経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど	2.83	3.78
(19) 水産業振興 水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど	2.78	3.97
(20) 商工観光業振興 活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど	2.62	4.02
(21) 子育て支援 保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど	2.81	4.15
(22) 未就学児支援 未就学児が健やかに成長できる取り組みなど	2.91	4.10
(23) 学校教育 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど	2.83	4.22
(24) 生涯教育の推進 文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など	2.81	3.92
(25) 生涯スポーツの推進 年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど	2.78	3.78
(26) 国際交流の推進 多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど	2.85	3.50
(27) 森林の公益的機能 適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど	2.86	3.84

(28)鳥獣害対策の推進 野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど	2.57	3.93
(29)自然環境 自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど	2.89	3.94
(30)資源循環型社会の推進 ごみの発生抑制・再利用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど	2.97	3.95
(31)良好な生活環境の保全 環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど	2.96	3.89
(32)安全・安心な水の確保 安全で安心な水が安定供給される取り組みなど	3.33	4.19
(33)都市づくり 安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど	2.69	3.98
(34)災害に強い都市施設 災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど	2.70	4.31
(35)公共交通 安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど	2.53	4.14
(36)財政の健全化 行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど	2.51	4.24
(37)広域・外部連携の推進 近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど	2.74	3.97
(38)人の流れの創出 多くの市民が住み続けたいと思い、市外の人も住み続けたいと思えるまちとなるような定住移住に対する取り組みなど	2.54	4.16
(39)郷土文化・歴史の保存と継承 文化財の適切な保存・管理や、次世代への文化継承に対する取り組みなど	2.91	3.73
平均	2.81	4.02

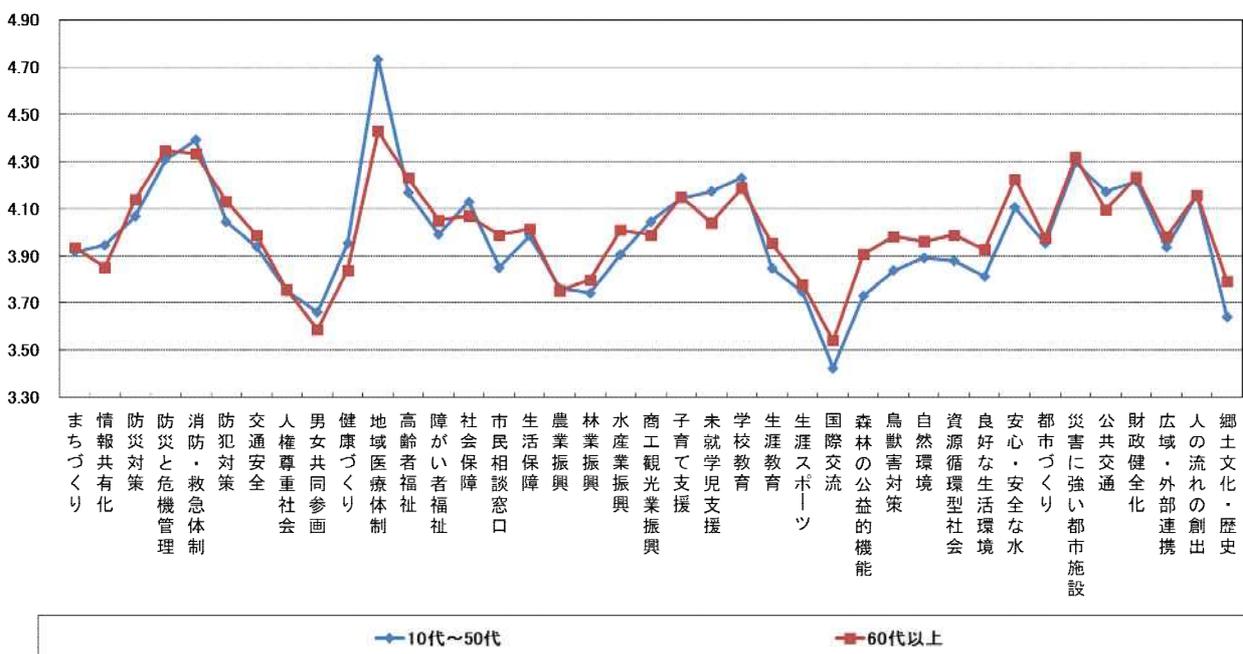
■満足度×年代

満足度について年代別に見ると、全年代で「安心・安全な水」の数値が高くなっており、次いで「10代～50代」では「防犯対策」が、「60代以上」では「消防・救急体制」の数値が高くなっています。



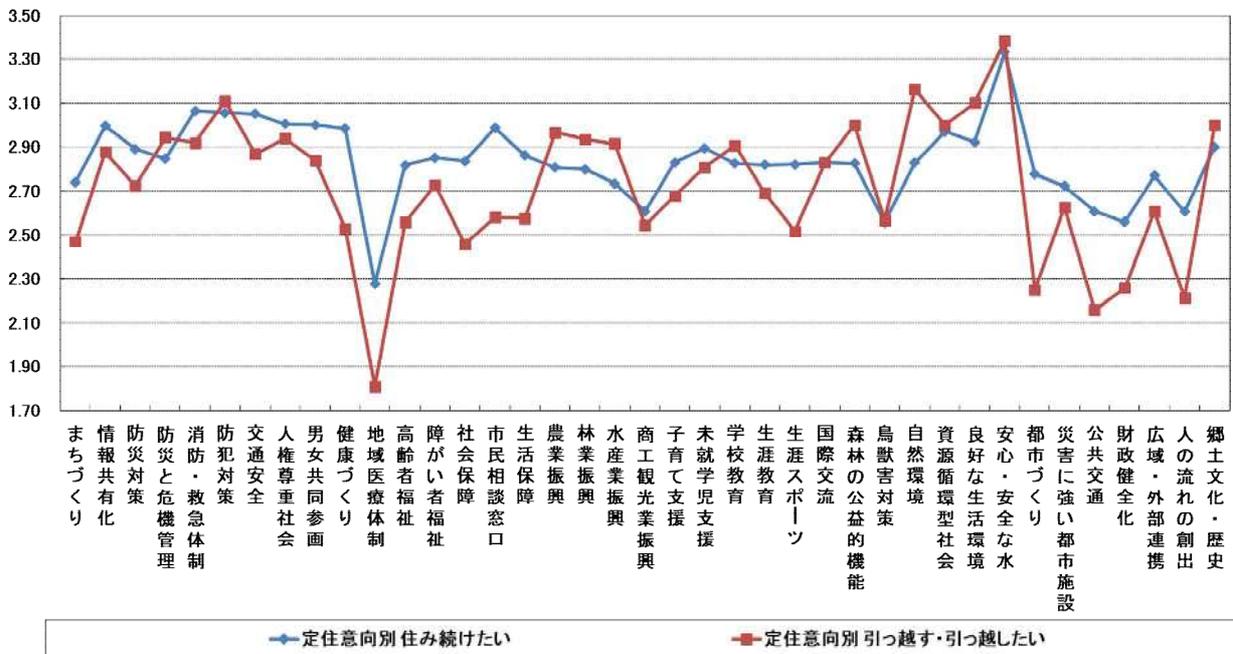
■重要度×年代

重要度について年代別に見ると、全年代で「地域医療体制」の数値が高くなっており、次いで「10代～50代」では「消防・救急体制」が、「60代以上」では、「防災と危機管理」の数値が高くなっています。



■満足度×定住意向

満足度について定住意向別に見ると、定住意向に関係なく「安心・安全な水」の数値が高くなっており、次いで「住み続けたい」を選んだ方は「消防・救急体制」「防犯対策」の数値が高くなっており、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方は「自然環境」の数値が高くなっていきます。



■重要度×定住意向

重要度について定住意向別に見ると、定住意向に関係なく「地域医療体制」の数値が高くなっており、次いで「住み続けたい」を選んだ方は「防災と危機管理」の数値が高くなっており、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方は「消防・救急体制」の数値が高くなっていきます。

